

令和 6 年度

公益財団法人いわき市教育文化事業団決算書
(抜粋)

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

公益財団法人いわき市教育文化事業団

目 次

	ページ
・ 事 業 報 告 書	1
・ 決 算 報 告 書	50

事業報告書

目 次

I 概 況	ページ
1 総 括 事 項	3
II 業 務	
1 文化財部門（公1 埋蔵文化財の発掘調査事業）	
(1) 発掘調査事業	4
(2) 啓蒙普及事業	6
(3) 指定管理施設との連携	6
2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）	
(1) いわき市立草野心平記念文学館及び草野心平生家	8
(2) いわき市暮らしの伝承郷	12
(3) いわき市勿来関文学歴史館	19
(4) いわき市アンモナイトセンター	23
(5) いわき市考古資料館	26
(6) 福島県いわき海浜自然の家	31
(7) いわき市生涯学習プラザ	35
3 管 理 部 門（法人会計）	44
III 評議員会・理事会に関する事項	
1 評 議 員 会	48
2 理 事 会	48
3 監 査	48
4 役員等に関する事項	48
IV 職員に関する事項	
1 事 務 局	49
2 施 設	49

I 概 況

1 総 括 事 項

令和6年度は、当財団の設立から47年目、公益法人に移行後11年目にあたる。物価の上昇や国際情勢の変化等により社会状況が大きく変化する中、公益法人としての役割を認識し、職員が一丸となって、専門性を十分に活かすとともに適切な事業運営を進め、市・県民の心の支えとなるような教育文化の振興に資する事業を展開した。

理事会は7回、評議員会は2回開催し、財務に関しては収支相償に留意しながら、公正・公平で透明性のある組織運営に努めた。

文化財部門は、JRいわき駅周辺の開発事業に伴う平城跡内での発掘調査や試掘・確認調査・報告書の刊行を数多く実施した。発掘調査では、内堀跡及び外堀跡が検出された。また、田町曲輪内の武家屋敷地の調査報告書を刊行し、古代から近代までの成果が重層的に解明された。事業量は11件、収入額は約2億5,073万円となり、前年度比で2件、約6,937万円の減となった。

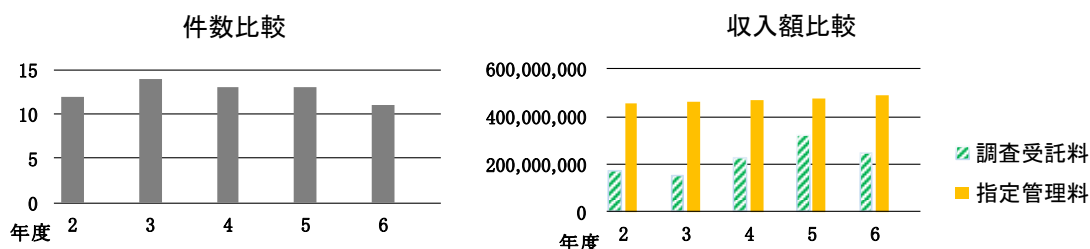
施設部門は、いわき市勿来関文学歴史館といわき市生涯学習プラザが指定管理期間の最終年度を迎えたが、公募を経て、引き続き5か年及び2か年の指定管理者としての決定を受けた。事業については、魅力ある企画展や体験学習等を展開し、全施設の年間利用者は前年度比7.9%増の165,713人となった。

法人運営としては、施設長会議や事務担当者会議、安全衛生委員会等の諸会議を適宜開催し、諸課題への対応や情報の共有を図り、適切で安全な施設の運営にあたった。

今年度の収入は全体で約7億5,805万円となり、効率的かつ効果的な事業運営及び経費の節減に努めた結果、約702万円の黒字決算となった。

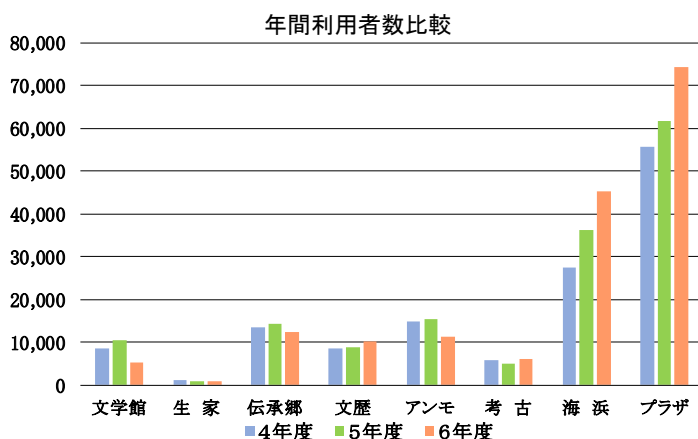
○ 発掘調査事業契約件数と主な収入額の年度別比較（令和2年度～令和6年度）

年度	2	3	4	5	6
契約件数 (単位：件)	12	14	13	13	11
調査受託料収入額 (単位：円)	169,944,500	155,347,500	226,794,700	320,111,000	250,732,900
指定管理料収入額 (単位：円)	455,031,000	463,719,000	471,314,186	473,754,987	491,993,005



○ 施設年間利用者数比較（令和4年度～令和6年度）

	文学館	生 家	伝承郷	文歴	アンモ	考 古	海 浜	プラザ	合 計
4年度	8,487	1,177	13,500	8,586	14,777	5,903	27,404	55,668	135,502
5年度	10,510	997	14,263	8,941	15,510	5,022	36,402	61,892	153,537
6年度	5,270	867	12,361	10,330	11,216	6,008	45,258	74,403	165,713



Ⅱ 業 務

1 文 化 財 部 門（公 1 埋蔵文化財の発掘調査事業）

令和6年度は11件の事業を受託した。内訳は、発掘調査8件、整理等作業・報告書刊行3件である。

発掘調査では、平城跡で3か所の調査を実施した。柳町地区では令和5年度調査区の南隣を調査し、堀跡の延長28m分を検出した。白銀地区では平行する内堀跡と外堀跡を検出し、さらに、上層からは近代の旧平駅操車場関係の施設跡を検出している。公園整備関連では白蛇堀の南端部を検出した。

勿来バイパスに伴う古身遺跡では、旧河川と溝跡を検出し、縄文時代から江戸時代の土器類が出土している。

また、調査報告書を3冊刊行した。平城跡で、塗師櫓石垣及び田町曲輪の武家屋敷跡の報告をまとめた。塗師櫓石垣は、北東面で石垣の基底部分を検出された。さらに、南西面では階段状の遺構が検出されている。また、これまでの調査歴についてもまとめている。あわせて、石材のカルテや崩落前との照合調査の成果を掲載した。田町曲輪では、掘立柱建物跡や井戸跡、畑跡などの屋敷跡が検出され、多量の生活用具が出土している。さらに、下層からは磐城平城築城以前の掘立柱建物跡や畑地、陶磁器類が、上層からは、近代の役所跡などが検出されたことは特筆される。

市内遺跡に関する試掘・確認調査は、14遺跡17か所を調査し、報告書作成作業までを実施した。公園整備に関連する平城跡第36次の調査は、上述のとおりその後発掘調査を実施している。報告書は、いわき市教育委員会から刊行された。

(1) 発掘調査事業 遺跡位置図は7頁のとおり

ア 試掘・確認調査、発掘調査

[ア] 市内遺跡発掘調査業務委託	
委 託 者	いわき市教育委員会（文化財課）
遺 跡 名	市内一円
受託期間	令和6年4月9日～同7年3月14日
契 約 額	6,912,400円
実施遺跡	万谷遺跡（勿来町窪田御前崎、店舗建築 位置図⑩）、平城跡第36次（平字旧城跡、公園整備 位置図⑪）、志田名遺跡（川前町下桶売、土地造成）、仁井田内城跡（四倉町上仁井田、宅地造成 位置図⑫）、平城跡第40次（平字旧城跡、公園整備 位置図⑬）、好間条里跡（好間町中好間、宅地造成 位置図⑭）、米田条里跡（鹿島町米田、個人住宅 位置図⑮）、赤沼館跡（平下神谷、宅地造成 位置図⑯）、下小川台遺跡（小川町下小川、太陽光発電 位置図⑰）、平城跡第41次（平字旧城跡、公園整備 位置図⑱）、平城跡第42次（平字旧城跡、個人住宅 位置図⑲）、館ノ内遺跡（勿来町大高、携帯基地局増設 位置図⑳）、下市萱遺跡（三和町下市萱、ヤード造成 位置図㉑）、平城跡第43次（平字田町、建物建築 位置図㉒）、荒田目条里跡・砂畑遺跡（平菅波・荒田目、ほ場整備 位置図㉓）、小谷作広畑遺跡（好間町小谷作、宅地造成 位置図㉔）、御前田D遺跡（泉町滝尻、集合住宅建築 位置図㉕）で試掘を実施した。
成 果	平城跡では、第36次で白蛇堀南端部、第40次で瓦集中遺構、第41次で焼土跡と盛土、第42次で中世の堀跡、第43次で近代の整地層が検出され、第36次地点では発掘調査が実施された。また、館ノ内遺跡で古代の竪穴建物跡2棟と土坑2基、御前田D遺跡で竪穴建物跡3棟、荒田目条里遺跡・砂畑遺跡で古代の竪穴建物跡・溝跡・柱穴・水田跡・旧河川跡とともに多量の弥生土器・土師器・須恵器などが検出された。
[イ] 新屋敷・南作線埋蔵文化財（砂畑遺跡）発掘調査業務委託	
委 託 者	いわき市（土木課）
遺 跡 名	砂畑遺跡（平菅波字荒屋敷 位置図①）
受託期間	令和6年7月8日～同7年1月31日
調査期間	令和6年10月7日～同7年1月30日
調査面積	583.5㎡
契 約 額	28,818,900円
成 果	古代3棟、中性2棟、近世1棟の掘立柱建物跡、2条の中世の溝跡のほか、ピット・土坑などが検出された。中世の溝跡は、荒屋敷館跡に伴う区画溝と推定される。出土遺物は、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、石鏃、石臼が出土している。土師器には「田」の墨書も確認された。

(ウ) 都市計画道路搔槌小路幕ノ内線（柳町工区）埋蔵文化財（平城跡）発掘調査業務委託	
委託者	いわき市（土木課）
遺跡名	平城跡（平字柳町 位置図②）
受託期間	令和6年5月13日～同7年9月30日
調査期間	令和6年5月22日～同7年7月11日
調査面積	220㎡
契約額	14,833,500円
成果	平城跡第37次。令和5年度の第34次の南隣に位置し、第34次で調査された堀跡の延長28mが検出された。また、堀岸からは20cmほどの盛土が確認されている。現代まで開口していた堀跡で、底面付近からは近世陶磁器、上層部からは近現代の陶磁器が多量に出土している。さらに、下層からは旧河川跡が検出された。
(エ)（仮称）磐城平城・城跡公園埋蔵文化財調査業務委託	
委託者	いわき市（公園緑地課）
遺跡名	平城跡（平字旧城跡 位置図③）
受託期間	令和6年7月23日～同年7月11日5日〔9月30日から延長〕
調査期間	令和6年7月29日～同年7月10月28日
調査面積	102.8㎡
契約額	9,617,300円
成果	平城跡第38次。磐城平城跡白蛇堀の先端域を調査し、堀端部を区画する土手状遺構と堀跡内部に崩落した石垣が検出された。陶磁器や鯨瓦等の瓦が出土している。
(オ) 勿来バイパス事業埋蔵文化財発掘調査	
委託者	国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所
遺跡名	古身遺跡（勿来町四沢古身 位置図④）
受託期間	令和6年4月1日～同7年3月31日
調査期間	令和6年5月24日～同6年12月26日
調査面積	4,240㎡
契約額	108,511,700円〔109,543,500円から減額変更〕
成果	令和5年度に調査した北作B遺跡の眼下に位置する沢部が古身遺跡となる。 主に旧河川と推定される大規模な自然流路と溝跡及び土坑などが検出された。また、土層堆積状況から、水田耕作の可能性も推定された。遺物は、自然流路や溝跡の覆土を中心に、縄文土器・弥生土器、土師器・須恵器・陶磁器など、縄文時代から江戸時代までの土器類が出土している。
(カ) いわき駅北口埋蔵文化財調査	
委託者	東日本旅客鉄道株式会社
遺跡名	平城跡（平字白銀町 位置図⑤）
受託期間	令和6年7月16日～同7年1月31日
調査期間	令和6年7月16日～同7年1月31日
調査面積	3,100㎡
契約額	33,336,600円〔62,797,900円から減額変更〕
成果	平城跡39次。近代及び現代の大規模な盛土層が確認された。近代の盛土下面からは磐城平城の内堀跡と外堀跡が平行して検出され、陶磁器類が出土している。現代の盛土下面から旧平駅構内の水道管やレンガ造りの施設等が良好な状態で検出された。
(キ) 梅ノ作瓦窯跡群範囲確認調査業務委託	
委託者	いわき市教育委員会（文化財課）
遺跡名	梅ノ作瓦窯跡群（小川町下小川 位置図⑥）
受託期間	令和6年11月18日～同7年3月14日
調査期間	令和7年2月10日～同7年3月12日
調査面積	38㎡
契約額	5,814,600円
成果	第2号窯跡と不明遺構の延長部分について確認することを目的として実施した。 第2号窯跡の煙道及び炉体部分が検出され、これまでの調査とあわせて窯跡の全体の形状がほぼ確認された。

(ク) 令和6年度小浜代遺跡発掘調査業務	
委託者	富岡町
遺跡名	小浜代遺跡（富岡町小浜地内）・一本松遺跡（富岡町上郡山地内）
受託期間	令和6年12月26日～同7年3月31日〔3月21日から延長〕
調査期間	令和6年2月3日～同7年3月18日
調査面積	200㎡・62.9㎡
契約額	3,883,000円
成果	小浜代遺跡において、古代の竪穴建物跡及び遺跡の西端を区画すると推定される溝跡が検出された。

イ 整理等作業、報告書作成・刊行業務

(ア) 磐城平城跡塗師櫓石垣確認業務（報告書作成）	
委託者	いわき市教育委員会（文化財課）
遺跡名	磐城平城跡塗師櫓（平字旧城跡 位置図⑦）
受託期間	令和6年10月15日～同7年3月31日
契約額	8,376,500円
成果	遺物の実測・トレース等の整理等作業及び挿図・図版の版組、遺物写真撮影、原稿作成等の報告書作成作業を実施し、報告書を刊行した。 いわき市埋蔵文化財調査報告第206冊、本文15頁、挿図39頁、原色図版4頁、図版20頁。
(イ) 埋蔵文化財発掘出土品整理業務委託	
委託者	いわき市教育委員会（文化財課）
遺跡名	湯長谷館跡（常磐下湯長谷町古館 位置図⑧）
受託期間	令和6年9月9日～同7年3月28日
契約額	3,999,600円
成果	湯長谷館跡を対象とした遺構図トレース（委託）、遺物の実測等の整理等作業を実施した。
(ウ) いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業	
委託者	いわき駅並木通り地区市街地再開発組合
遺跡名	平城跡（平並木の杜 位置図⑨）
受託期間	令和6年4月26日～同7年3月14日
契約額	26,628,800円
成果	昨年度からの継続事業。遺構図の修正・トレース、遺物の実測・トレース等の整理等作業及び挿図・図版の版組、遺物写真撮影、原稿作成等の報告書作成作業を実施し、報告書を刊行した。 いわき市埋蔵文化財調査報告第204冊、本文466頁（挿図294図、表98）原色図版8頁、図版40頁。

(2) 啓蒙普及事業

いわき市考古資料館 第1回企画展「令和5年度発掘速報展」	
4月20日(土)～7月7日(日)	
考古資料館と共催で開催した。展示解説資料として、『いわき発掘ニュース』第85号を発行し、関連事業「遺跡報告会」及び「展示解説会」では、調査担当職員が報告及び解説した。詳細は2-(5)-イ-(ア)のとおり。	

(3) 指定管理施設との連携

いわき市生涯学習プラザと連携し、2事業を実施した。詳細は3-(4)-アのとおり。

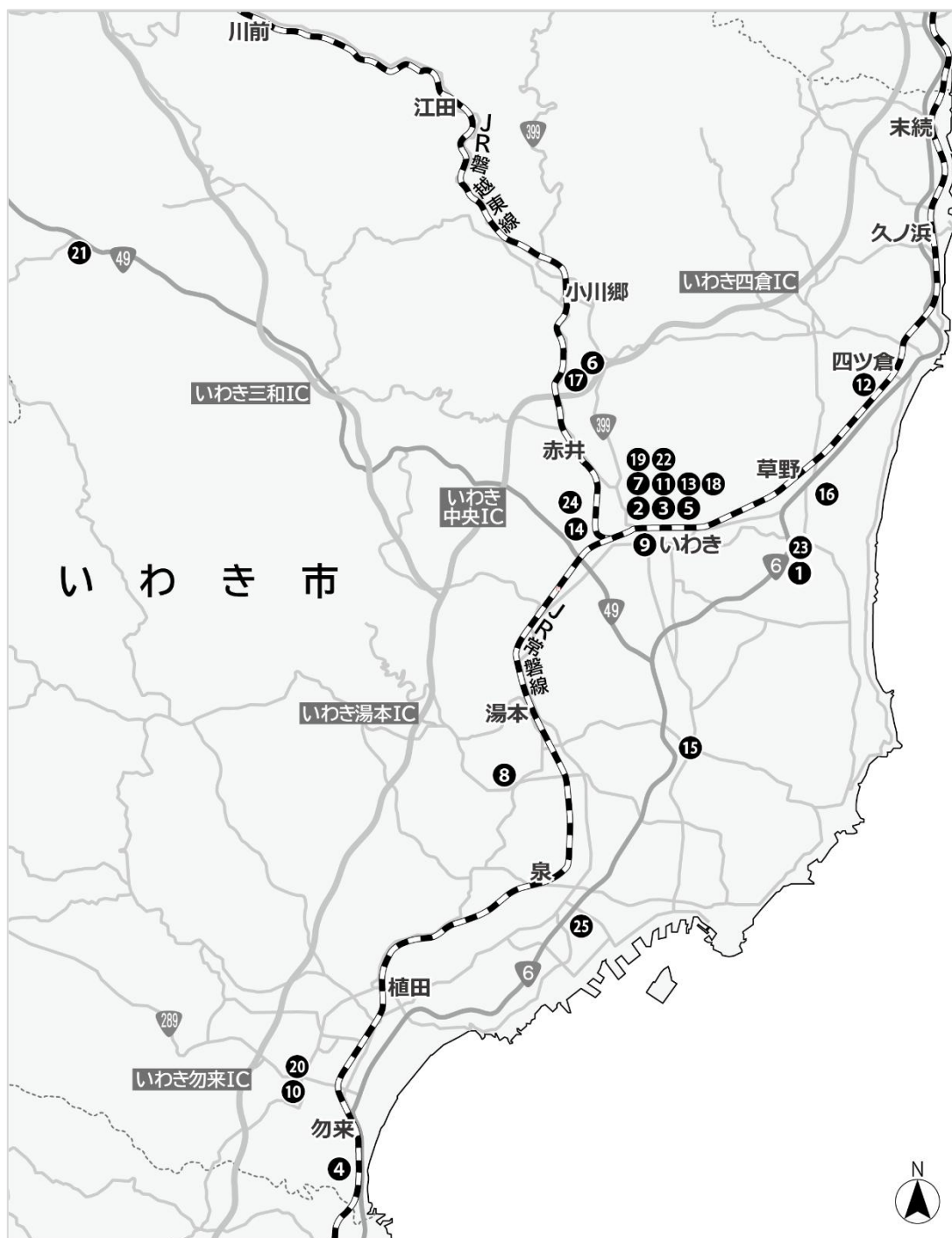
○ 埋蔵文化財発掘調査 遺跡位置図

ア 主な発掘調査業務（⑩～⑳は試掘・確認調査）

- | | | |
|-------------------|-------------------|------------------------|
| ① 砂畑遺跡（平菅波） | ⑪ 平城跡第36次（平字旧城跡） | ⑰ 下小川台遺跡（小川町下小川） |
| ② 平城跡（平字柳町） | ⑫ 仁井田内城跡（四倉町上仁井田） | ⑱ 平城跡第41次（平字旧城跡） |
| ③ 平城跡（平字旧城跡） | ⑬ 平城跡第40次（平字旧城跡） | ⑲ 平城跡第42次（平字旧城跡） |
| ④ 古身遺跡（勿来町四沢古身） | ⑭ 好間条里跡（好間町中好間） | ⑳ 館ノ内遺跡（勿来町大高） |
| ⑤ 平城跡（平字白銀町） | ⑮ 米田条里跡（鹿島町米田） | ㉑ 下市萱遺跡（三和町下市萱） |
| ⑥ 梅ノ作瓦窯跡群（小川町下小川） | ⑯ 赤沼館跡（平下神谷） | ㉒ 平城跡第43次（平字田町） |
| ⑩ 万谷遺跡（勿来町窪田） | | ㉓ 荒田目条里跡・砂畑遺跡（平菅波・荒田目） |
| ⑭ 好間条里跡（好間町中好間） | | ㉔ 小谷作広畑遺跡（好間町小谷作） |
| ⑮ 米田条里跡（鹿島町米田） | | ㉕ 御前田D遺跡（泉町滝尻） |

イ 整理、報告書作成・刊行業務

- | |
|-------------------|
| ⑦ 磐城平城跡塗師櫓（平字旧城跡） |
| ⑧ 湯長谷館跡（常磐下湯長谷町） |
| ⑨ 平城跡（平並木の杜） |



2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）

(1) いわき市立草野心平記念文学館及び草野心平生家

文学館 いわき市小川町高萩字下タ道1番地の39 平成10年7月19日開館
生 家 いわき市小川町上小川字植ノ内6番地の1 平成15年4月10日開館
委託者及び指定管理期間 いわき市 令和6年4月1日～令和11年3月31日

いわき市立草野心平記念文学館の利用者数は5,270人で、前年度比5,240人の減となり、開館日数は309日（前年度311日）であった。いわき市草野心平生家の年間入館者は867人で、前年度比130人の減となり、開館日数は309日（前年度311日）であった。利用者数が減少した要因としては、企画展「古閑裕而展 ―裕而と金子の往復書簡―」の主な観覧者が高齢者であり、若年者の観覧者が少なかったことが大きいと考えられる。

利用者からは文学館に対して、「草野心平の詩の美しさを知り心が震えた」「蛙語がこのような発音だったのかと感動した」、生家に対して「ぜひ、のこしてくださいね」「とてもゆったりとした心地に なれた」といった感想が寄せられた。

ア 企画展

企画展は、「草野心平の旅 所々方々」「古閑裕而展 ―裕而と金子の往復書簡―」「草野心平の書画展」を開催した。

スポット展示・特別スポット展示は、「猪狩満直」「草野心平 愛の詩」「渋沢栄一といわき ―草野心平の実祖父・白井遠平との関わりから―」「吉野せい」「草野天平」を開催し、いわきゆかりの文学者、「古閑裕而展」にちなんだ「愛」に関する草野心平の詩、渋沢栄一と心平の実祖父である白井遠平との関わりについて紹介した。

(ア) 企画展「草野心平の旅 所々方々」

4月20日(土)～6月23日(日) 801人

草野心平の「旅」を取り上げ、心平が訪れた国内外の各地を紹介しながら、「旅」を主題とした心平の作品、関連する自筆原稿、日記、スケッチ、書籍や身のまわりの品等を展覧し、新たな視点での詩人の魅力を紹介した。

関連事業

ギャラリートーク 5月11日(土)、6月1日(土)いずれも14時～14時30分 計12人

(イ) 企画展「古閑裕而展 ―裕而と金子の往復書簡―」

7月13日(土)～9月23日(月)休 2,419人

現在も歌い継がれ、聴き継がれる作品を残した古閑裕而が妻となる内山金子と交わした若き日の書簡を展覧し、その生涯と代表作品を紹介した。あわせて、古閑作曲の県内小中学校校歌や「猪苗代国体賛歌」等の作詞を手がけた詩人・草野心平との知られざる交流も紹介した。

関連事業

a ギャラリートーク 8月3日(土)、9月7日(土)いずれも14時～14時30分 計13人

b 記念講演会「古閑裕而と妻金子」 8月18日(日)14時～15時15分 70人

講師 古閑正裕氏（古閑裕而長男、ライブユニット「喜多三」シンセサイザー）、鈴木聖子氏（ライブユニット「喜多三」ヴォーカル）

c ハーモニカコンサート 9月8日(日)14時～15時 77人 出演 泉ハーモニカクラブひばり

(ウ) 企画展「草野心平の書画展」

3月15日(土)～6月8日(日) 206人 [3月31日(月)現在]

草野心平は約1,400篇の詩以外にも多彩な創作活動を展開し、1956年にアマチュアのデッサングループ「竹林会」を結成すると、1965年には書画を出品した個展を開催し、それ以降日本各地で20回の個展を開催している。詩人独特の感性で創作された書画の魅力を紹介した。

(エ) スポット展示「猪狩満直」

4月13日(土)～6月23日(日)

いわきゆかりの作家、猪狩満直が作品を寄せたいわき地域の同人詩誌から、満直といわきの詩友たちとの交流を紹介した。

(オ) スポット展示「草野心平 愛の詩」

7月6日(土)～9月23日(月)休

草野心平の詩の「愛」という言葉に注目し、所蔵資料により年齢を重ねるごとの意味の変化を紹介した。

(カ) 特別スポット展示「渋沢栄一といわき ―草野心平の実祖父・白井遠平との関わりから―」
8月17日(土)～10月27日(日) 新1万円札の肖像に選ばれ、現在の常磐興産株式会社の設立に尽力するなど、いわき市ともゆかりがある渋沢栄一の足跡を、草野心平の実祖父である白井遠平との関わりから紹介した。
(キ) スポット展示「吉野せい」
10月5日(土)～12月22日(日) 本年は吉野せい生誕125周年、『渚をたらしした神』出版50周年にあたることから、『渚をたらしした神』自筆草稿、自筆原稿、『道』自筆原稿、著書等を展覧した。
(ク) スポット展示「草野天平」
1月2日(木)～3月23日(日) 草野天平の詩人としての歩みとともに、彼の晩年の詩作を支え、没後半世紀以上にわたって顕彰活動を続けた妻梅乃との関わりを紹介した。

イ 普及事業

著名な文学者を講師に迎えた文芸講演会、文学ゆかりの場所をめぐる文学散歩、草野心平も用いた謄写版印刷にちなんだガリ版ワークショップ、夜間開館時に様々な芸術を鑑賞するサマーナイトの催しなどを開催した。

文学散歩「草野心平ゆかりの内郷白水をめぐる」について、例年文学散歩の講師は当館学芸員が務めていたが、今回はいわきヘリテージ・ツーリズム協議会を講師に迎えて開催した。常磐炭田の歴史に詳しい同会が解説することで、心平が訪れた内郷白水地区の歴史に関する参加者の理解もより深まったと考えられる。

移動水族館では、小川町の農産物や軽食などの販売に加え、令和6年度はキッチンカーの出店と遊びのスペシャリストが選んだおもちゃで遊べる「おもちゃ広場」を新たに開催した。キッチンカーの出店により、長時間滞在する参加者も多く見られ、「おもちゃ広場」には小学生以下が数多く参加した。

(ア) いわき濤笛会山口流篠笛コンサート「竹の遠音 魂鎮めの調べ」
5月6日(月)(休)14時～15時 51人 草野心平の詩に触れながら季節にちなんだ曲目等を篠笛の音色で紹介した。
(イ) 文学散歩「草野心平ゆかりの内郷白水をめぐる」
5月18日(土)9時～12時 18人 草野心平が度々訪れた白水阿弥陀堂と、隣接する石炭(すみ)の道、みろく沢炭鉱資料館を見学しながら、心平作品や内郷地区への関心を深めた。
(ウ) サマーナイトの催し
a コンサート「四季の夕景」 7月6日(土)17時～18時 50人 b 朗読会「古閑裕而の“そのとき”」 7月27日(土)17時～18時30分 46人 c コンサート「弦楽器の響き クラシックから演歌まで」 8月10日(土)17時～18時 62人 d コンサート「デュオジャズナイト」 8月24日(土)17時～18時 62人 e 寄席「ちょっとこわい落語」 8月31日(土)17時～18時 45人
(エ) アトリウムコンサート
8月4日(日)14時～15時 中止 新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から開催を中止した。
(オ) 移動水族館(協力 ふくしま海洋科学館)
8月25日(日)10時～15時 336人 親子連れや子どもたちに、海辺の生き物に親しむ場を提供した。同時におもちゃ広場や、減塩に関するクイズ、キッチンカーの出店、地元の農産物・飲食物販売も実施した。
(カ) ガリ版ワークショップ
12月7日(土)13時30分～15時 22人 草野心平が謄写版印刷機(ガリ版)で詩集を作ったことにちなみ、オリジナルのカードを作り、かつての印刷機材、技術に触れる機会とした。
(キ) クリスマスえほんコンサート
12月15日(日)14時～15時 85人 クリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせと演奏会を実施し、文学館ボランティアの会会員が扮するサンタクロースがお菓子をプレゼントした。

(ク) 「ガリ版ワークショップ」参加者作品紹介
1月2日(木)～同13日(月)祝 12月に開催したガリ版ワークショップの作品を紹介し、年賀状などで年始の来館者を迎えた。
(ク) 文芸講演会「詩人・草野心平——いかに心平が心平になったか」
3月8日(土)14時～15時30分 45人 澤正宏氏（福島大学名誉教授）と和合亮一氏（詩人）を講師に迎え、草野心平の詩について対談した。

ウ 共催事業

(ア) 2024日程「夏の詩のセミナー」
7月13日(土) 23人 草野心平が創刊に参加し、現在まで発行を続けている同人詩誌「歷程」の「夏の詩のセミナー」のうち、詩についての講話と基調講演の会場となり、市民の文学・芸術振興と交流の場を提供した。
(イ) 共催展示 いわき総合図書館前期企画展「吉野せい入門」
7月2日(火)～10月20日(日) いわき総合図書館の前期企画展を共催した。自筆資料画像、いわき市内の吉野せい関連場所（地図）等のデータ提供及び解説文等の作成に協力した。

エ 連携事業

- (ア) 指定管理施設との連携
いわき市生涯学習プラザと連携し、1事業を実施した。詳細は3-(4)-アのとおり。
- (イ) 地域との連携

月 日	連携団体	内 容	人数
7月27日(土) ・同28日(日)	小川諏訪神社	夏うさぎマルシェでの案内配布	-
8月4日(日)	青少年育成市民会議小川地区推進協議会	おがわ七夕まつり（JR小川郷駅前）での案内配布	-
8月25日(日)	小川・川前地区保健福祉センター	減塩クイズ（移動水族館との同時開催）	-
11月2日(土)	吉野せい賞運営委員会・いわき市	第47回吉野せい賞表彰式・第48回吉野せい賞作品募集ポスター表彰式・記念講演会	70人
11月2日(土) ～同24日(日)	吉野せい賞運営委員会・いわき市	第48回吉野せい賞作品募集ポスター展	-
1月12日(日)	いわき市成人式実行委員会	令和7年小川地区成人式	40人

オ 出前講座・展示

要請を受け、いわきの文学に関する講義及び出前展示を実施し、市内の文学者について理解を深める機会を提供した。5団体1展示の依頼があり、68人が受講した。詳細は3-(4)-ウのとおり。

カ 文学館ボランティアの会事業

文学館ボランティアの会では、グッズ販売や当館主催事業の運営補助に加えて、文学ゆかりの場所をめぐる文学散歩や朗読で草野心平作品を紹介する居酒屋「火の車」一日開店などを主催した。

居酒屋「火の車」一日開店について、今年度は常設展示室に復元された心平が経営した居酒屋「火の車」を会場に開催し、作品の世界観をより理解できるよう努めた。

(ア) 朗読サロン
4月13日(土)、5月11日(土)、6月1日(土)、7月6日(土)、8月3日(土)、9月7日(土)、10月5日(土)、11月16日(土)、12月14日(土)、1月18日(土)、2月1日(土)、3月1日(土)いずれも11時～12時 計92人
(イ) 文学散歩「吉野せいゆかりの地をめぐる」
11月17日(日)10時～11時30分 15人 本年は吉野せい生誕125周年、『渚をたらしした神』出版50周年にあたることから、せいゆかりの地である菊竹山や菩提寺である龍雲寺を訪ね、生涯と作品について解説した。

㌥) 居酒屋「火の車」一日開店 3月16日(日)11時～12時 31人 草野心平が東京で居酒屋「火の車」を開いていた頃を書いた随筆などを紹介し、鑑賞後にお酒のおつまみのお土産を提供した。

キ 草野心平生家の催し

草野心平作品とふるさとに親しみを持ってもらう「心平誕生月の展示」、心平と弟天平を偲ぶ「心平忌」、「草野天平の集い」などを草野心平生家ボランティアの会と連携しながら開催した。

「カエルのクラフトワークショップ」は、外部講師の協力を得て開催し、内容の充実を図った。

㍿) 心平誕生月の展示 5月12日(日)～6月23日(日) 99人 草野心平が詩の主題のひとつとした「蛙」をテーマに、生家に暮らした頃の心平と同年代の小川町の児童が制作した起き上がりこぼしを展示した。
㍿) カエルのクラフトワークショップ 7月20日(土)14時～15時 8組20人 草野心平が蛙を主題とした詩を多く作ったことにちなみ、カエルの締めだいを作るワークショップを実施した。
㍿) 子どもじゃんがら 8月12日(月)11時～11時20分 中止 台風5号の影響を考慮し、実施を中止した。
㍿) 没後37回忌「心平忌」・第30回「心平を語る会」 11月10日(日)13時～15時 65人 草野心平の命日(11月12日)にちなみ、小玉郷土芸能クラブ実演のじゃんがら念仏踊りと、山口流篠笛いわき濤笛会による心平の作品を織り交ぜた朗読・曲目のコンサートを開催し、心平の命日を偲んだ。
㍿) 草野天平の集い 2月22日(土)13時30分～14時30分 29人 草野天平の誕生月にちなみ、女声アンサンブルLe ciel (ルシエル) による天平作詩の曲やゆかりの曲を披露し、天平を偲ぶ催しを実施した。

ク レファレンス対応

㍿) 資料調査 3件

月 日	依 頼 者	内 容
6月8日(土)	立教大学教授	研究論文執筆のため、詩誌「播種者」、草野心平差出猪狩満直宛書簡の閲覧及び中国時代の生活が分かる部分の撮影
8月21日(水)	筑波大学文学サブプログラム	学術研究のため、「亜細亜」創刊号の閲覧、室伏クララ関連部分等の撮影及び「月曜」創刊号の閲覧、宮沢賢治関連部分等の撮影
2月27日(木)	科学研究費「戦時下の北京・上海及び周辺都市における日本語出版物と文芸文化ネットワークの研究」チーム資料調査	研究論文執筆のため、草野心平日記の「住所録」現物、日本未来派関係者、特に池田克己、八森虎太郎(古川武雄)からの書簡、「ランディの会」からの書簡、雑誌『亜細亜』、「日記⑦ 筆談 1953」のノートの閲覧及び撮影

㍿) 資料貸出 2件

貸出月日	返却月日	貸 出 先	内 容
11月2日(土)	1月26日(日)	いわき市暮らしの伝承郷	草野心平関係資料2点、猪狩満直関係資料2点、画像データ1点 第2回企画展「馬と暮らし」に使用するため
3月26日(水)	7月31日(木)	いわき市立美術館	草野心平画1点、書簡8点、自筆原稿3点、書籍3点、雑誌2点

貸出月日	返却月日	貸 出 先	内 容
			「特集：谷川俊太郎といわき」に使用するため

ケ 事業懇談会

日 時	出席委員数	議 題
第1回事業懇談会 9月23日(月)休 10時30分～11時30分	9人	令和5年度いわき市草野心平記念館の実施事業について 令和6年度いわき市草野心平記念館の事業について その他事項
第2回事業懇談会 3月22日(土) 10時30分～11時30分	7人	令和6年度いわき市草野心平記念館の実施事業について 令和7年度いわき市草野心平記念館の実施計画について その他事項

(2) いわき市暮らしの伝承郷

いわき市鹿島町下矢田字散野14番地の16 平成11年7月18日開園
委託者及び指定管理期間 いわき市 令和6年4月1日～令和11年3月31日

令和6年度の入園者数は、12,361人で、前年度より1,902人の減少であった。利用者数が減少した要因として、猛暑による夏季期間の入園者減、自主事業の回数の減、企画展示室貸し出し利用の減などが上げられる。

常設展示室では、入園当初から導入されていた大型の映像モニターが故障し、交換部品もなくなり修繕が不可能となったことから、新たにテレビモニターを導入し、映像の上映を再開した。また、新たに黒電話や真空管ラジオ、レジスター等昭和時代の生活道具の展示品を増やし、内容の充実を図った。園内は古民家を中心とした景観復元のために、畑作・里山作りのほか、盆棚飾りやお月見、餅花作りなどの年中行事を実施し、古民家で生活が営まれた時代を復元展示した。

体験事業の多くは、子どもを対象とし、「めざせ！『子ども落語家』講座」や「キッズミュージアム」は特に人気が高かった。「キッズミュージアム」では、昔遊びの体験以外に日本茶インストラクターいわき支部の協力により、日本茶や抹茶の試飲体験を実施した。普段の生活では、体験できない伝統的な作法を体験することができ、参加者も満足げであった。

その他、ボランティアの育成や資料収集・整理作業、民俗調査・レファレンスなどを通年で実施した。

ア 企画展

企画展は2回開催し、「人生儀礼Ⅰ」では、人々が一生を通して経験する人生儀礼に焦点を当てた。展示は、誕生前の安産祈願から結婚までの儀礼に着目し、実際に使用されていた頃の写真とともに道具を紹介した。

「馬と暮らし」では、人と馬のかかわりを考古、文学、歴史、民俗などの資料から紹介した。あわせて遠野の馬市や馬産に関わっていた人たちの聞き取り調査の結果を展示へ反映させた。関連事業の「暮らしの伝承郷に馬がやってくる」では、幅広い世代の入園者があり、とても好評だった。

ロビー展では、端午の節句飾り、七夕飾り、おひな様飾りにちなんだ収蔵資料を紹介した。

ア) 第1回企画展「人生儀礼Ⅰ」	
5月25日(土)～8月25日(日) 1,875人	誕生から結婚までの人生儀礼を、実際に使用した道具や当時の写真を用いて紹介した。
関連事業 展示解説会 5月25日(土)、6月29日(土)、7月27日(土)いずれも13時30分～14時30分 計15人	
イ) 第2回企画展「馬と暮らし」	
11月2日(土)～1月26日(日) 2,650人	人と馬のかかわりを、信仰や歴史等とおして紹介した。
関連事業 a 展示解説会 11月9日(土)、12月7日(土)、1月18日(土)いずれも13時30分～14時30分 計22人 b 「暮らしの伝承郷に馬がやってくる！」 11月17日(日)11時～14時 300人 日本中央競馬会競走馬リハビリテーションセンターとの共催で開催した。園内にサラブレッドを展示し、見学やふれあい体験を実施した。	

(ウ) ロビー展	
a	端午の節句飾り 4月20日(土)～6月10日(月) 絵のぼり5点、節句飾り3点、鯉のぼり2点、関係資料と解説パネルを展示した。
b	七夕飾り 7月7日(日)～8月12日(月)(休) 笹飾りと藁馬、七夕の歴史についての解説パネルを展示した。
c	おひなさま 2月22日(土)～3月29日(土) 市民から寄贈を受けた雛人形5組、関連資料30点と解説パネルを展示した。

イ 講座・講演会

子ども向け講座「めざせ！『子ども落語家』講座」は、開始から3年目となる。継続の受講者も多く、受講者が互いに刺激し、練習を積んでいた。発表会では笑いあり、涙ありの大盛況に終わった。ほかに、伝承郷講座は2回、古文書講座は3回実施し、古文書講座では、講師の丁寧な指導と本人の熱心な受講姿勢で、小学生の受講者も楽しく学ぶことができた。

(ア) めざせ！「子ども落語家」講座（連続講座と発表会）	
a	めざせ！「子ども落語家」講座 6月22日(土)、7月20日(土)、8月24日(土)、9月21日(土)、10月5日(土)いずれも10時～12時 計46人 山椒家小粒氏を講師に迎え、子どもたちが古典芸能「落語」を連続講座で学んだ。
b	子ども寄席 10月26日(土)10時～12時 43人 めざせ！「子ども落語家」講座を受講した子どもたちが成果を披露した。
(イ) 伝承郷講座	
10月20日(日)、2月16日(日)いずれも13時30分～15時 計51人 第1回「ふくしま 酒の民俗」では、大里正樹氏（福島県立博物館主任学芸員）を講師に迎え、県内のどぶろくまつり等、民俗事例を紹介した。第2回「身近な地域資料を守り、継承するためにーわたしたち一人一人にできることー」では、阿部浩一氏（福島大学教授）を講師に迎え、東日本大震災やその後に起きた自然災害で被害を受けた歴史文化の資料の救出について、実例を挙げて紹介し、地域資料を守っていく大切さについて学んだ。	
(ウ) 古文書講座	
1月11日(土)、同18日(土)、同25日(土)いずれも10時～12時 計56人 田仲桂氏（いわき市文化財保護審議会委員）を講師に迎え、古文書の読解の基礎について学んだ。	

ウ 体験事業

体験学習会（主催）では、「藁馬づくり」「竹かご作り」「布ぞうり作り」など、季節にあわせた内容で14回実施した。

共催事業では、学習管理棟休憩コーナーを会場に、ハーモニカ、ギター、箏・尺八や篠笛などの演奏会や寄席、こぎん刺しのワークショップなどを13回実施した。演奏会では、各団体の熱演に入園者の満足度も高かった。

「キッズミュージアムin伝承郷」は、園内全域を会場とし、「紙コプター」「空飛ぶUF0」「ビニール袋でパラシュート作り」の工作体験や、いわき海浜自然の家と連携し、「割りばし鉄砲作りと射的」等を実施した。そのほか、「竹馬」「ベーゴマ」「羽根つき」など道具を貸し出し、近年では体験することの少ない昔遊びの場を提供することができた。

「キッズじゃんがら体験教室」では、下綴青年会の方々を講師に迎えて念仏踊りの体験教室を開催した。対象は小学生としていたが、同行していた保護者や小さな子どもたちも加わり賑やかな講座となった。

(ア) 体験学習会

事業名	開催日時	参加者数
けん玉道場	5月5日(日)祝10時～12時	7人
藁馬作り	8月3日(土)10時～12時	6人
キッズじゃんがら体験教室	9月7日(土)、14日(土)いずれも10時～11時30分	計21人
キッズミュージアムin伝承郷 「暮らしの伝承郷で遊ぼうよ！」	11月3日(日)祝10時～14時	308人
民話の語り①	11月9日(土)13時30分～14時30分	9人
竹かご作り	11月16日(土)9時30分～15時、17日(日)9時30分～12時	計19人
正月飾り作り（玄関用）	12月14日(土)9時30分～12時	13人

事業名	開催日時	参加者数
正月飾り作り（神棚用）	12月15日(日)9時～12時	11人
民話の語り②	1月5日(日)13時30分～15時	32人
布ぞうり作り	2月15日(土)、同16日(日)9時30分～12時	計17人
第6回伝承郷寄席	3月9日(日)14時～16時	48人

(イ) 共催事業 （ ）内は共催団体等

事業名	開催日時・回数	参加者数
小雀落語会 (小名浜雀笑落語会)	5月19日(日)、8月4日(日)、11月24日(日) いずれも14時～16時	計137人
ハーモニカ演奏会 (泉ハーモニカクラブひばり)	6月1日(土)10時30分～11時30分	24人
七夕コンサート (箏アンサンブル雷神)	7月7日(日)14時～15時	27人
津軽こぎん刺しワークショップ (塩谷美江氏)	7月24日(水)9時～12時、13時～16時	計18人
名月篠笛演奏会 (いわき濤笛会)	9月15日(日)14時～15時	37人
宮沢賢治童話朗読会 (いわき賢治の会)	10月6日(日)14時～15時	33人
ギターコンサート (コン・アモーレ)	10月12日(土)14時～15時	27人
朗読会 (朗読サロンミモザ)	12月8日(日)13時～14時	53人
新春箏コンサート (筑紫野会)	1月12日(日)14時～15時	66人
桃の節句篠笛演奏会 (いわき濤笛会)	3月2日(日)14時～15時	36人

エ 伝統芸能実演

市内に残る伝統芸能の実演は毎年恒例となっており、楽しみに来園する方も多い。今年度は「上仁井田子どもじゃんがら保存会」と「高野町獅子舞保存会」が実演した。

じゃんがら念仏踊りではNHKの取材があり、後日他の取材とあわせてEテレの「芸術きわみ堂」の中で映像が紹介された。

(ア) じゃんがら念仏踊り
8月18日(日)13時30分～14時30分 38人
(イ) 三匹獅子舞
9月1日(日)14時～15時 29人

オ 年中行事再現

季節の節目にいわき地方で行われている様々な年中行事を再現・展示した。年配の来園者はかつての行事を懐かしむ一方、若年世代や子どもたちには新たな経験として新鮮に感じられるなど、地域に受け継がれた風習に興味を持つきっかけとなった。

行事名	月日・期間
端午の節句飾り	4月20日(土)～6月10日(月)
蚊帳吊り	7月7日(日)～11月2日(土)
七夕飾り	7月7日(日)～8月12日(月)(休)
盆棚飾り	8月5日(月)～8月18日(日)
二百十日	8月31日(土)
お月見・ お月見どろぼう	9月16日(月)(祝)
エビスコ	11月20日(水) (旧暦10月20日)
神帰	12月1日(日)
こと八日	12月8日(日)

行事名	月日・期間
煤払い	12月1日(日)～同25日(水)
餅つき	12月27日(金)
正月飾り	12月28日(土)～1月13日(月)(祝)
山入り	1月6日(月)
農立て	1月11日(土)
小正月の餅花飾り	1月15日(水)
節分	2月3日(月)
初午	2月6日(木)
こと八日	2月8日(土)
エビスコ	2月17日(月) (旧暦1月20日)
おひなさま飾り	2月22日(土)～3月29日(土)

カ 調査研究事業

市内各地の民俗の記録撮影や関係者への聞き取り調査を実施した。また、市民からの民具寄贈受入れや民具調査を通年で実施した。寄贈資料は17件(計115点)であった。

㍿ 調査研究

期間・月日	内 容
6月15日(土)	入遠野で遠野の馬市の聞き取り調査を実施した。
10月12日(土)	住吉神社の流鏑馬について調査を実施した。
11月27日(水)	馬産組合の聞き取り調査を実施した。
3月20日(木)(祝)	いわき市勿来関文学歴史館にて「磐城七浜捕鯨絵巻」(複製)の調査を実施した。

㍿ 資料整理、受入等

月 日	寄贈資料
4月5日(金)	節句飾り
4月7日(日)	郷土読本
4月19日(金)	節句飾り、鏡台
4月22日(月)	ちゃぶ台
4月28日(日)	十九夜講用膳、杵、臼、長火鉢、文机、火鉢、自在鉤、背負いかご、ふるい、角ふるい(豆ふるい)、ちゃぶ台、テーブル、へら、衣桁、衝立、ちりとり、かご、鉄瓶、懐炉、おちょこ
5月21日(火)	人形、火鉢
5月24日(金)	柳行李
6月7日(金)	蒸し窯、天秤はかり、スチールギター
6月14日(金)	書籍、三匹獅子舞道具一式
6月17日(月)	天秤ばかり、天秤棒
6月20日(木)	能面、絵画(照島図)
6月29日(土)	書籍、火鉢
6月30日(日)	和傘、書籍
7月10日(水)	書籍
7月11日(木)	ハガキ・封書・切手一式(白井遠平関連資料)
12月26日(木)	いわき絵のぼり
1月17日(金)	出征旗

キ 園内管理事業(業者委託を除く) 期間 4月1日(月)～3月31日(月)

園内管理事業は古民家を中心とした景観復元のために、畑作(耕作・除草)、里山づくり(下草刈り・落葉集め等)、除草(民家周辺・通路)、落ち葉掻き・堆肥作り、植木剪定・枝落とし、垣根作り、池の浚渫、民家清掃(ハタキ・掃き・雑巾がけ・障子張り)、囲炉裏の火焚き、薪作り、花木の展示(民家神棚等)、園内危険箇所点検・修繕などをボランティアの協力を得ながら実施した。

古民家では、盆棚やお月見飾り、餅花作りなどの年中行事を実施するとともに、定期的に囲炉裏に

火を入れ燻蒸をし、維持管理に努めた。

古民家では、景観の素朴さからアニメファンがキャラクターの衣装に扮し撮影する場所としても注目を集めている。撮影する来園者の多くは市外からで、文化財を観光資源として活用する方法に広がりが見えてきた。

ク ボランティア育成事業

活動は大きくガイド、花と野菜作り、民家維持管理・年中行事の3つに分かれる。ガイドは団体の入園者に対する案内が主で、月に1回研修を実施し、案内に必要な知識を学んでいる。花と野菜作り、民家維持管理の活動は不定期だが、ボランティアそれぞれが活動日を決め、希望の内容に沿って囲炉裏の火焚きや民家の清掃などの活動をしている。年中行事は施設側が日程を決め、事前に活動を依頼する。年間を通して様々な活動に多くのボランティアが参加し、施設の運営を支えている。

(ア) ガイドボランティア例会	
4月22日(月)～3月24日(月)	基本的に13時30分～15時 12回実施 計76人
(イ) 園内ガイド、花と野菜作り、民家維持管理・年中行事	
4月1日(月)～3月31日(月)	計944人

ケ 団体利用

園内の古民家・昔の道具等の解説及び昔遊び・石臼の使い方などの体験指導を実施し、次のように65団体、計2,684人が利用した。

月 日	団 体 名	内 容	利用者数
4月11日(木)	内町さくら会	園内見学	16人
5月15日(水)	原高野公民館 (いわき市平原高野)	園内見学	13人
	水色の会	園内見学、スケッチ	11人
5月18日(土)	まこと幼稚園	園内見学	56人
6月16日(日)	中央台飯野2区自治会	園内見学	55人
6月20日(木)	白河市中央公民館	園内見学	29人
7月4日(木)	白河市中央公民館	園内見学	23人
7月20日(土)	NPO法人 VIDA	園内見学	10人
8月21日(水)	フレッシュかもめ会	園内見学	33人
9月6日(金)	いわき市立泉小学校	園内見学	149人
	いわき市立豊間小学校	園内見学	44人
9月11日(水)	いわき市立小名浜第一小学校	園内見学	57人
9月12日(木)	いわき市立菊田小学校	園内見学	67人
	いわき市立江名小学校	園内見学、昔遊び体験	14人
	いわき市立藤原小学校	園内見学、昔遊び体験	30人
9月13日(金)	いわき市立勿来第二小学校	園内見学、石臼体験	20人
	いわき市立小名浜西小学校	園内見学	93人
9月18日(水)	いわき市立好間第四小学校	園内見学	12人
	いわき市立御厩小学校	園内見学	46人
	いわき市立高坂小学校	園内見学、昔遊び・石臼体験	61人
9月19日(木)	いわき市立小名浜第三小学校	園内見学、昔遊び体験	82人
	いわき市立小川小学校	園内見学	25人
9月20日(金)	いわき市立四倉小学校	園内見学	61人
9月23日(月)(休)	アビコ西部観光株式会社	園内見学	14人
9月25日(水)	いわき市立久之浜第一小学校	園内見学、昔遊び体験	33人
	いわき市立永崎小学校	園内見学	42人
9月27日(金)	いわき市立高久小学校	園内見学	23人
9月28日(土)	歴訪会 (茨城県水戸市)	園内見学	29人
9月30日(月)	いわき市立内町小学校	園内見学	27人
10月3日(木)	いわき市立勿来第一小学校	園内見学	62人
10月4日(金)	いわき市小名浜東小学校	園内見学、石臼体験	80人

月 日	団 体 名	内 容	利用者数
	いわき市立湯本第二小学校	園内見学、石臼体験	22人
	いわき市立植田小学校	園内見学	76人
10月6日(日)	すみれ会	園内見学	8人
10月9日(水)	いわき市立夏井小学校	園内見学	13人
10月10日(木)	いわき市立平第一小学校	園内見学、石臼体験	81人
10月11日(金)	いわき市立磐崎小学校	園内見学	103人
10月16日(水)	いわき市立渡辺小学校	園内見学	16人
10月18日(金)	松村看護専門学校	園内見学、昔遊び体験	27人
10月20日(日)	大安場史跡公園	園内見学	32人
10月21日(月)	神谷こども園	園内見学	45人
10月23日(水)	ツクイいわき錦町	園内見学	23人
10月25日(金)	水色の会	園内見学、スケッチ	6人
	いわき市立小名浜第二小学校	園内見学	73人
10月25日(金)	いわき市立平第六小学校	園内見学	31人
10月30日(水)	いわき市立平第五小学校	園内見学	89人
	いわき市立中央台南小学校	脱穀体験	42人
11月1日(金)	いわき市立好間第二小学校	園内見学	48人
	いわき市立泉北小学校	園内見学	109人
11月6日(水)	いわき市立平第四小学校	園内見学	52人
11月7日(木)	いわき市立鹿島小学校	園内見学、昔遊び・石臼体験	42人
11月11日(月)	すいとぴーデイサービスセンター中央台	園内見学	32人
11月13日(水)	すいとぴーデイサービスセンター中央台	園内見学	37人
	北那須米の会	園内見学	14人
11月22日(金)	いわき市立錦小学校	園内見学	62人
1月6日(月)	アトリエハウス児童クラブ	園内見学、昔遊び体験	19人
1月16日(水)	いわき市立中央台北小学校	園内見学	42人
1月23日(木)	いわき市立錦東小学校	園内見学、昔遊び体験	29人
1月26日(日)	コスプレ団体	園内見学、撮影会	26人
1月30日(木)	双葉町立双葉南・北小学校	園内見学	2人
2月5日(水)	いわき市立中央台南小学校	園内見学、昔遊び体験	26人
2月14日(金)	東日本国際大学	園内見学、昔遊び体験	51人
2月26日(水)	いわき市立中央台東小学校	園内見学	50人
3月16日(日)	ケアパートナーいわき	園内見学	20人
3月26日(水)	北茨城市生涯学習課「むかし体験事業」	園内見学、割りばし鉄砲作り、掃除体験	19人

コ 連携事業

(ア) 指定管理施設との連携

いわき市生涯学習プラザと連携し、1事業を実施した。詳細は3-(4)-アのとおり。

(イ) 地域との連携

藁馬作り体験教室（主催 いわき芸術文化交流館アリオス）

7月20日(土)13時～15時 18人

いわき芸術文化交流館アリオスで、藁馬作り体験の補助をした。

(ウ) いわき市

文化財サポーター ボランティア活動

年中行事 豆まき（主催 いわき市観光文化スポーツ部文化財課）

2月3日(月)10時～11時 2人

文化財サポーターの登録者が豆まきにボランティアとして参加した。

サ 出前講座

要請を受け、いわきのじゃんがら今昔についての講座や、昔の暮らしや道具の説明、石臼と洗濯板の使い方体験を指導した。12団体、計421人が受講、体験した。詳細は3-(4)-ウのとおり。

シ レファレンス対応

(ア) 資料調査 7件

月 日	依 頼 者	内 容
4月16日(火)	いわき総合図書館	橋本華涯の生年月日について
4月18日(木)	個人	いわきの方言及びイントネーションについて
5月25日(土)	個人	磐城平城絵図の内容について
12月4日(木)	個人	いわき市内の三匹獅子舞の実施状況について
3月5日(水)	福島県立いわき光洋高校2年生	じゃんがら念仏踊りにについて
3月10日(月)	公益財団法人日本博物館協会	博物館総合調査について
3月23日(日)	個人	いわき市内の神棚について

(イ) 資料貸出 8件

貸出月日	返却月日	貸 出 先	内 容
3月28日(木)	9月10日(火)	いわき市勿来関文学歴史館	女子勤労挺身隊関係綴、防衛食陶製容器、日の丸旗、勲章、債権類 一式 企画展「語り伝えたい記憶～風船爆弾と学徒動員～」に展示するため
6月24日(月)	11月13日(水)	いわき市勿来関文学歴史館	「改正日本興地路程全図」(複製)、「改正陸奥磐城四郡疆界路程全図」(複製) スポット展示「いわき南部を治めた藩～磐城平藩と窪田藩～」に展示するため
7月1日(月)	10月31日(木)	千葉県立中央博物館	マイワイ 2点 企画展「万祝博覧会」に展示するため
2月15日(土)	3月1日(土)	双葉町立双葉南・北小学校	昔の道具13点、授業で使用するため
3月3日(月)	3月10日(月)	個人	「芸能・祭り・行事2」の写真アルバム、浜下り調査のため
3月9日(日)	3月27日(木)	個人	昔の道具3点、郷ヶ丘小学校への出前講座で使用するため。
3月12日(水)	3月17日(月)	いわき市立高坂小学校	昔の民具17点、授業で使用するため
3月10日(月)	3月21日(金)	個人	「芸能・祭り・行事4」の写真アルバム、浜下り調査のため

(ウ) 問い合わせ対応 47件

ス 企画展示室使用状況

いわき市の条例により、また施設の利用促進を図るため、市民に企画展示室を貸し出し、4件1,653人の使用があった。

会期・月日	展示会名・事業名	利用者数
9月26日(木) ～同30日(月)	第3回布絵のセカイ	673人
10月10日(木) ～同13日(日)	第41回聖雲会書展 田久芳涯遺作展	517人
2月20日(木)	いわき市民活動支えあいセンター 「無料セミナー&個別相談会」	9人
3月20日(木) ～同24日(月)	「共に生きる」絵手紙展	454人

セ 博物館実習生の受け入れ

期 間	内 容
8月29日(木) ～9月2日(月)	筑波大学 1人 学芸業務全般、展示・体験学習の企画・運営等についての実習。

ソ 事業懇談会

日 時	出席委員数	議 題
第1回事業懇談会 6月23日(日)10時～11時	7人	令和5年度事業報告について 令和6年度事業経過報告(4～5月)及び事業計画(6～3月)について その他の事項
第2回事業懇談会 3月9日(日) 10時30分～11時30分	8人	令和6年度事業経過報告(6～1月) 令和7年度事業予定について その他の事項

(3) いわき市勿来関文学歴史館

いわき市勿来町関田長沢6番地の1 昭和63年7月1日開館
委託者及び指定管理期間 いわき市 令和5年4月1日～令和7年3月31日

令和6年度の利用者数は10,330人で、前年度と比べて1,389人の増となった。利用者が増えた要因としては、新型コロナウイルスをはじめとする感染症の流行が落ち着いたことによる団体利用者の増加や、企画展「語り伝えたい記憶～風船爆弾と学徒動員～」が新聞やテレビなどで多数取り上げられたことが考えられる。

展示事業では、2階第1常設展示室の一角に「いわきの絵はがき～勿来関と勿来海岸」展示コーナーを設け、季節ごとに展示資料を入れ替え、利用者の観覧に供した。

また、市民ギャラリーについて、写真や文学、芸術作品の展示など創作発表の場として無料で利用可能な旨をホームページ等で周知し、施設の利用促進を図った。

さらに、特別事業として、前年度に引き続き(一社)いわき観光まちづくりビューローとの共催で、春と秋の行楽シーズンにあわせて勿来関公園を巡るツアーを実施し、文学・歴史・自然の観点から当地の魅力の再発見につなげた。あわせて「吹風殿寄席」を開催するとともに、夏休み・冬休みの時期と春の休日に外部講師の協力を得てクラフト教室を開催した。

ア 企画展

企画展・テーマ展は、いわきに根差した人物や資料を中心に紹介した。アンケートでは、いわきゆかりの文学や歴史、人物などについて、今まで知らなかったことを学べて良かったという意見や、展示を観ることで改めて地域の歴史や文学について理解できたという意見が多く寄せられるなど、好評を得た。

会期中には、関連事業として講演会やギャラリートークを開催した。企画展の内容に関連する外部の研究者を講師に迎えた講演会では、企画展に関する分野をより深く理解できたと好評だった。そのほか、第1回企画展「語り伝えたい記憶～風船爆弾と学徒動員～」では、いわき市在住の作家・竹内公太氏と連携し、町歩きツアーやギャラリー展示などを開催した。第2回企画展「専称寺の文化財～僧侶の学問所～」では、専称寺と共催し見学会を開催した。いずれの関連事業も、専門家の案内があつて分かりやすかった、普段は見れないものを間近に見れてよかったなどの感想をいただき、大変好評だった。また、ギャラリートークでは、毎月1回、学芸員が展示内容を詳しく解説した。

[ア] 令和5年度テーマ展2「勿来関と歌枕」	
2月23日(金)～4月16日(火) 1,765人	歌枕として知られる勿来関は、古くから多くの歌人に詠われ、江戸時代には現在の勿来関公園付近を勿来関に見立てられるようになった。本展では、勿来関にまつわる文学と歴史を紹介した。
関連事業 ギャラリートーク 4月14日(日)14時～14時30分 7人	
[イ] 第1回企画展「語り伝えたい記憶～風船爆弾と学徒動員～」	
4月25日(木)～9月1日(日) 4,238人	第二次世界大戦の終結から79年。いわき市在住の方々の証言から、勿来町にあった風船爆弾基地や学徒動員に関する体験談をまとめ、戦時中の記憶をたどった。

(イ) 第1回企画展「語り伝えたい記憶～風船爆弾と学徒動員～」	
関連事業 a 町歩き＋ギャラリーツアー 5月3日(金)祝・同12日(日)いずれも13時～15時 計26人 勿来の風船爆弾基地跡周辺を散策した後、学芸員と作家の解説を聞きながら、企画展、市民ギャラリー展示とともに、竹内公太「地面のためいき」展示を観覧した。 b 竹内公太「地面のためいき」展示 5月3日(金)祝～同12日(日)、8月2日(金)～同12日(月)休 アメリカで実際に風船爆弾の落ちた場所を取材、撮影した写真を貼り合わせて制作した直径10メートルの風船を「体験学習施設 吹風殿」で展示した。 c 講演会「資料から見た風船爆弾～開発者の視点・気象学者の視点～」 6月23日(日)14時～15時30分 57人 当財団職員で気象予報士の榎良幸広が講師を務め、「ふ号作戦」と勿来の風船爆弾基地跡をはじめ、爆弾の開発と製造、作戦遂行、戦争遺産の保存と課題等について、気象予報士の視点と調査研究成果をもとに講演した。 d ギャラリートーク 6月9日(日)、7月14日(日)、8月11日(日)いずれも14時～14時30分 計35人	
(ウ) 第2回企画展「専称寺の文化財～僧侶の学問所～」	
11月2日(土)～2月16日(日) 2,510人 浄土宗名越派の学問所として繁栄した専称寺（いわき市平山崎字梅福山）について、専称寺文書（福島県指定文化財）等をもとに、その歴史を解説した。	
関連事業 a 見学会「専称寺の歴史と文化財」 12月14日(土)10時30分～11時30分 20人 住職・遠藤弘道氏による案内で専称寺を見学した。国指定重要文化財に指定されている建造物のほか、普段は目にすることのできない、専称寺が所蔵する貴重な資料を見学した。 b 講演会「袋中上人が抱いた故郷への思い－名越派本山専称寺、如来寺、円通寺宛の文書から－」 1月25日(土)14時～15時30分 38人 渡邊匡一氏（信州大学教授）を講師に迎え、袋中上人によって浄土宗名越派本山である専称寺、元本山であった如来寺、檀林寺である円通寺（栃木県益子町）に送られた文書から、袋中上人が抱いた名越派への思いを読み解いた。 c ギャラリートーク 11月10日(日)、12月8日(日)、1月12日(日)、2月9日(日)いずれも14時～14時30分 計26人	
(エ) 第1回テーマ展「いわき南部を治めた藩～磐城平藩と窪田藩～」	
9月7日(土)～10月27日(日) 1,240人 江戸時代、現在のいわき市域を構成していた幕領やささまざまな藩のうち、いわき市南部を統治した磐城平藩と窪田藩にまつわる歴史を紹介した。	
関連事業 ギャラリートーク 9月15日(日)、10月13日(日)いずれも14時～14時30分 計44人	
(オ) 第2回テーマ展「描かれた源義家」	
2月22日(土)～3月31日(月) 1,051人 平安時代の武士・源義家は別名・八幡太郎とも呼ばれ、前九年の役の活躍でも知られている。当館所蔵の義家の姿を描いた絵画などを紹介した。	
関連事業 ギャラリートーク 3月9日(日)、同20日(木)祝いずれも14時～14時30分 計16人	

イ 市民ギャラリー展示 表（ ）内は主催者

市民ギャラリーの利用は計10回あり、うち3回は今回初めて利用する団体・個人だった。その内訳は、第1回企画展「語り伝えたい記憶～風船爆弾と学徒動員～」に関連する竹内公太氏の写真展、いわき市在住の日本画家で、当館主催のクラフト教室で講師を依頼した小林工悦氏の作品展、登山ガイドとして活動する2名による絵画展で、中でも竹内氏の写真展では、普段目にする機会が少ない国外での戦争関連資料を視る良い機会となった。

(ア) 俳句作品展示会（月俳句会、川部俳句会）	
3月31日(日)～4月30日(火) いわき市内に拠点を置いて活動する俳句会が合同で作品を展示した。	
(イ) 「第37回勿来の関歌会入選作品」（勿来ひと・まち未来会議）	
4月1日(月)～3月31日(月) 第37回勿来の関歌会入選作品を展示した。	
(ウ) 「竹内公太写真展～風船の飛んだ先～」（竹内公太、当館共催）	
5月3日(金)祝～7月31日(水) アメリカ軍情報部資料をもとに、風船爆弾の飛来したアメリカの現地を訪ねて撮影した風景写真を展示した。	

(エ) 「原爆と人間」 (いわき市)
8月1日(木)～同16日(金) 写真パネル等をとおして、原爆の悲惨さと核廃絶の取り組み等を紹介した。
(オ) 「日本画家小林工悦絵画展」 (小林工悦)
8月23日(金)～9月17日(火) NHK文化センターいわき教室で長年日本画講師を務めた小林氏による日本画を展示した。
(カ) 「登山ガイドの山の絵展」 (佐藤一夫・佐藤健二)
9月20日(金)～10月31日(木) 国内外で登山ガイドとして活動する傍らで描かれた佐藤両氏の山岳画を展示した。
(キ) 「短歌作品展」 (勿来短歌を楽しむ会)
11月5日(火)～同30日(土) 勿来地区で活動する短歌会による作品を展示した。
(ク) 「alive 金澤裕子作品展」 (金澤裕子)
12月2日(月)～同31日(火) 勿来町出身のアーティスト金澤裕子氏によるいわき市・双葉郡の風景を描いたアクリル画を展示した。
(ケ) 「なんでもアート展」 (Team Picasso 秋元政明)
1月6日(月)～2月4日(火) 秋元氏が主催する美術教室の子供達が制作した絵画やアート作品を展示した。
(コ) 「遠野和紙×田部君子～高嶋祥太作品展～」 (遠野和紙芸術文化研究会)
2月8日(土)～3月9日(日) 福島県伝統的工芸品の遠野和紙に遠野町出身の歌人田部君子の短歌を書いた高嶋祥太氏による書道作品を、遠野和紙の解説とともに展示した。
(ク) 「第15回勿来八景フォトコンテスト入選作品展」 (いわき市南部地区中心市街地活性化協議会)
3月21日(金)～同31日(月) 今年度の「勿来八景」フォトコンテスト入選作品を展示した。

ウ 特別事業

前年度から引き続き「学芸員とネイチャーガイドが案内する勿来関の文学・歴史・自然さんぽ」を開催した。本事業は4月に2回、11月、12月の計4回実施した。参加者からは「何度も足を運んだ勿来関の新たな見所を知ることができた」など大変好評を博した。

あわせて、「吹風殿寄席」を開催した。日本の伝統芸能である落語を平安時代の邸宅を模した吹風殿で聴講するという趣向もあって、参加者に大変好評だった。

クラフト教室は、外部講師を迎えて3回開催した。夏休みに開催した「遠野和紙あかりを作ろう！」では、遠野和紙制作者の指導により、遠野和紙を用いたあかりを制作したほか、紙芝居や風船爆弾に関する解説をした。冬休みに開催した「宿題の書初めを練習しよう！」では、いわき市ゆかりの書道家の指導により、楽しみながら書初めをした。専門家の指導により内容が充実し、好評の声が多かった。春のクラフト教室では、いわき市在住の日本画家を講師に迎え、初心者向けの日本画講座を実施した。本格的な絵具を用いた内容で、子どもから大人まで満足できる内容となり、大変好評だった。

(ア) いわきあるき2024 学芸員とネイチャーガイドが案内する勿来関の文学・歴史・自然さんぽ
4月6日(土)、同13日(土)、11月26日(火)、12月3日(火)、いずれも10時～13時 計42人 (一社)いわき観光まちづくりビューローと共催で開催した。当館学芸員とネイチャーガイドの案内のもと、勿来関にまつわる文学・歴史に触れるとともに、勿来関公園に広がる自然を散策した。
(イ) 吹風殿寄席
4月29日(月)祝14時～15時30分 46人 いわき市在住の落語家である山椒家小粒氏、武相亭八木助氏、七色亭小鈴氏による寄席を開いた。
(ウ) 夏休みクラフト教室「遠野和紙あかりを作ろう！」
7月27日(土)13時～15時 27人 高嶋祥太氏(遠野和紙制作者)を講師に迎え、遠野和紙を使ってあかりを制作した。また、紙芝居で戦争について触れ、風船爆弾についての解説もした。
(エ) 冬休みクラフト教室「宿題の書初めを練習しよう！」
1月4日(土)13時～15時 15人 小堀玄幽氏(泰書會正師範、九段)を講師に迎え、小学生に書初めを指導した。

(ホ) 春のクラフト教室「楽しい日本画教室」
3月2日(日)13時30分～15時30分 26人 小林工悦氏（日本画家）を講師に迎え、日本画の画材、岩絵の具等を用いて塗り絵を楽しんだ。

エ 団体入館者

各種団体に対し常設展・企画展について解説し、勿来関にまつわる歴史や文学などを詳しく周知した。次のように35団体、計891人が利用した。

月 日	団 体 名	利用者数
4月6日(土)	(株)ブエン・カミーノ	23人
4月26日(金)	いわき市立勿来第二小学校	82人
	いわき市立小名浜東小学校	76人
5月1日(水)	いわき市立小名浜第三小学校	72人
5月2日(木)	福島県立いわき支援学校くぼた校	16人
	学校法人山崎学園磐城緑蔭中学校	18人
5月18日(土)	いわき手話サークル勿来支部ひまわり会	15人
5月25日(土)	いわき市立勿来公民館	21人
5月29日(水)	福島市マスターズクラブ	26人
6月10日(月)	建板会	22人
6月21日(金)	郡山市中田町郷土史研究会	18人
6月24日(月)	要田ひまわり学級	28人
7月6日(土)	歴史たんぼ	25人
	松原旅行会	10人
7月7日(日)	曲畑公民館	24人
7月11日(木)	小松右岸水利組合	12人
7月16日(火)	山形霞城郷土史研究会	43人
7月30日(火)	アトリエハウス児童クラブ	51人
8月24日(土)	いわき海の俳句全国大会	17人
9月6日(金)	いわき市立遠野小学校	26人
9月26日(木)	若人の翼同期会	7人
10月2日(水)	いわき市立中央公民館	28人
10月3日(木)	東村山退職校長会	10人
10月9日(水)	栃木地区交通安全協会岩船支部	11人
11月10日(日)	南相馬豊かな緑を育てる会	17人
11月11日(月)	岩沼KOB会	26人
11月17日(日)	NPO法人あびこ・シニア・ライフ・ネット	22人
12月14日(土)	宇賀神電機(株)工友会	42人
1月26日(日)	櫛山旅行会	11人
2月11日(火)祝	恵泉いわき教会	10人
	狭山の里の会	39人
2月23日(日)祝	幸手市消防団第6分団	7人
3月8日(土)	勿来支所「地域学講座」	20人
	東京八坂観光バス(株)	7人
3月9日(日)	勿来支所「地域学講座」	9人

オ 連携事業

(ア) 指定管理施設との連携

いわき市生涯学習プラザと連携し、1事業を実施した。詳細は3-(4)-アのとおり。

(イ) 地域との連携 () 内は主催団体

a 第15回「勿来八景」フォトコンテスト(後援) (いわき市南部地区中心市街地活性化協議会)
当館館長が審査員を務め、入選作品展の会場として、市民ギャラリーを提供した。
b 第38回勿来の関歌会(協力) (勿来ひと・まち未来会議)
当館館長が審査員を務め、入選作品展の会場として、令和7年度に市民ギャラリーを提供することを予定している。

カ 出前講座

要請を受け、勿来関や文学に関する講座を実施した。3団体、75人が受講した。詳細は3-(4)-ウの

とおり。

キ レファレンス対応

資料貸出 1件

貸出月日	返却月日	貸出先	内 容
6月26日(水)	6月27日(木)	個人	諸根樟一『白河及菊多剗研究』の貸出

ク 調査研究事業

期 間	内 容
3月～4月	風船爆弾に関する調査 風船爆弾に関する資料を収蔵している北茨城市歴史民俗資料館・野口雨情記念館での調査や、戦時中、軍用紙の製造に関わっていた遠野町で聞き取り調査を実施した。
4月～7月	勿来の関にまつわる文学作品について調査した。その成果についてはいわき市立神谷公民館市民講座〔3-(4)-イ参照〕に活用した。

ケ 博物館実習生の受け入れ

期 間	内 容
9月2日(月) ～同6日(金)	神奈川大学、淑徳大学 計2人 事業の運営補助や収蔵資料の整理、常設展示品の入替作業などを実践した。

コ 事業懇談会

日 時	出席委員数	議 題
第1回事業懇談会 7月5日(金)10時～11時	6人	令和5年度事業報告について 令和6年度経過報告について その他
第2回事業懇談会 3月4日(火)14時～15時	7人	令和6年度経過報告について 令和7年度事業計画（案）について その他

(4) いわき市アンモナイトセンター

いわき市大久町大久字鶴房147番地の2 平成4年11月19日開館
委託者及び指定管理期間 いわき市 令和6年4月1日～令和11年3月31日

令和6年度の利用者数は、前年度と比べて4,294人少ない11,216人であった（前年度比72.3%）。利用者が減少した主な要因として、4月から8月までの期間は体験発掘場の安全性を考慮して定員を30名に減らして実施したこと、また体験発掘場整備工事のため9月の間は体験発掘を休止したことが挙げられる。

また、熱中症予防対策として、環境省発表の暑さ指数が31以上となる日は体験発掘を中止した。このほか、館内の空調設備が故障していたため、暑さ指数が31以上となった7月23日(火)、同24日(水)の午前は臨時休館とした。

7月9日(火)から9月25日(水)まで館内の空調設備等機械設備の改修工事を実施した。また、前述したとおり9月3日(火)から9月30日(月)まで体験発掘場の整備工事に伴い、9月2日(月)から9月30日(月)まで一般体験発掘及び特別体験発掘を休止した。

ア 企画展

小・中学校の長期休暇にあわせて、企画展を2回実施した。両企画展ともに会期中のミニ発掘や化石クイズを目的に来館する利用者が見受けられ、体験発掘非実施日の利用者数増に貢献した。

〔ア〕 夏休み企画展「いわきの古生代」
7月13日(土)～9月1日(日) 2,309人 いわき市には古生代から新生代まで長期間に亘る地層が分布し、これらの地層からは多くの化石が産出することが知られてきた。本展では、近年の研究により発見、認識された古生代から新生代の化石を展示し、最新の知見によるいわきの古生物相を解説した。

(ア) 夏休み企画展「いわきの古生代」	
関連事業	
a	ミニ発掘体験コーナー（三葉虫） 会期中の平日に実施 計76人
b	化石クイズ 会期中に実施 計1,272人 企画展に関連したクイズを出題し、全問正解者には外国産化石（サメの歯）をプレゼントした。
(イ) 冬休み企画展「アンモナイトセンター 今年の化石」	
11月30日(土)～1月13日(月)祝 1,354人 当館には後期白亜紀コニアシアン在地層が露出しており、毎週土・日曜日には化石の体験発掘を実施している。体験発掘中には古生物学的に重要な標本が産出することもあり、本展では、今年度の体験発掘で産出した重要標本を展示・紹介し、古生物学的視点から解説した。	
関連事業	
a	ミニ発掘体験コーナー（三葉虫） 会期中の平日に実施 計22人
b	化石クイズ 会期中に実施 計666人 企画展に関連したクイズを出題し、全問正解者には外国産化石（サメの歯）をプレゼントした。

イ 体験学習

一般体験発掘及び特別体験発掘の参加者数は、前述の要因により前年度の10,821人から大幅に減少した6,257人（前年度比57.8%）となっている。小・中学校を中心とした特別体験発掘に関しては参加団体数延べ27団体（前年度比73.0%）、参加人数801人（前年度比64.8%）と個人向けの一般体験発掘と同様に前年度から減少した。利用団体の内訳を見ると、市内からの利用は小・中学校が4校のほか市内の公共団体が2団体と全体の2割強（22.2%）となり、前年度に比べ団体数、割合とも減少した。また、県内や関東圏の中学校・高等学校の利用や、大学・博物館などの高等教育機関、産業技術総合研究所地質調査総合センターの社会人研修での利用など研究機関の利用が見られた。

親子自然探訪教室では、地質学や古生物学に限定しない自然科学分野の多様なテーマを設定し、野外での体験を軸としたアクティブラーニングプログラムを提供した。前年度に引き続き祝日となる月曜日を主体として全5回を開設した（うち4回実施）。参加者数は開催テーマや、年度によるばらつきがあり、参加者数増減の要因の分析や開催内容の検討・改編に努める必要がある。

(ア) 一般体験発掘

8月までは各回30人、10月からは各回200人を定員とし、大型連休中の5月4日(土)、同5日(日)は事前予約制で実施、9月は体験発掘場整備のため休止した。

日 時	回数、参加者数
4月1日(月)～3月31日(月)の毎土・日曜日 いずれも10時～11時30分・13時30分～15時	計177回実施、計6,257人

(イ) 特別体験発掘

次のように28団体、計801人が参加した。

月 日	団 体 名	参加者数
4月14日(日)	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	21人
5月2日(木)	いわき市立草野小学校	75人
5月17日(金)	国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	8人
5月22日(水)	福島県立ふたば未来学園高等学校	94人
5月29日(水)	水戸市立石川中学校	77人
5月30日(木)	いわき市立久之浜第二小学校	13人
5月31日(金)	国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	8人
7月9日(火)	三春町立御木沢小学校	33人
8月2日(金)	本郷中学校・高等学校地学部	28人
8月7日(水)	学校法人リリー文化学園キンダーワールドナーサリー 育脳学童クラブ	30人
8月8日(木)	立正大学地球圏探求サークル	9人
8月9日(金)	学校法人リリー文化学園ヴィクトリアナーサリー 育脳学童クラブ	37人
8月12日(月)	小川理科研究所	13人
8月22日(木)	つくば市立谷田部中学校	22人
8月23日(金)	ボーイスカウト匝瑳第1団	8人

月 日	団 体 名	参加者数
10月 1 日(火)	福島県立福島高校	43人
10月30日(水)	東日本国際大学附属昌平中学校	14人
10月31日(木)	いわき市立久之浜第一小学校	19人
11月 2 日(土)	いわき市立平窪公民館	20人
11月 6 日(水)	中島村立滑津小学校	22人
	双葉地区小学校教育研究会理科部	6人
11月17日(日)	リベルタサッカースクール	47人
11月23日(土)祝	就労準備型放課後等デイサービス i-step ジュニア グッドjob	7人
11月28日(木)	川内村立川内小中学園	8人
12月22日(日)	Vamos福島ホワイトリバーフットボールクラブ	23人
12月25日(水)	いわき市立四倉公民館	60人
1月10日(金)	広野町立広野中学校	41人
3月30日(日)	Vamos福島ホワイトリバーフットボールクラブ	15人

(ウ) 親子自然探訪教室

第1回「昆虫採集に出かけよう！」は、天候不良のため中止となった。次のように年間実施予定5回中4回実施、計46人が参加した。

月 日	内 容	参加者数
7月15日(月)祝	第1回「昆虫採集に出かけよう！」	雨天中止
11月 4 日(月)	第2回「陶芸に挑戦しよう！」	20人
11月 9 日(土)	第3回「秋の星座を見つけよう！」	16人
1月13日(月)祝	第4回「冬の野鳥を見に行こう！」	6人
2月11日(火)祝	第5回「電池の仕組みを知ろう！」	4人

(エ) 化石講演会

月 日	内 容	参加者数
12月17日(火)	いわき市立久之浜中学校体育館を会場に、村宮悠介氏（公益財団法人深田地質研究所 研究員）を講師に迎え、「いわきの化石が教えてくれる3億年の歴史」と題して講演した。	59人

ウ 連携事業

(ア) 指定管理施設との連携

いわき市生涯学習プラザと連携し、1事業を実施した。詳細は3-(4)-アのとおり。

(イ) 他団体との連携

多世代交流事業・Ciao「～太古の地球を感じよう～化石発掘体験」（主催 千代田区社会福祉協議会）	
3月15日(土)10時～11時45分、13時30分～15時15分 81人 千代田区立高齢者総合サポートセンターを会場に、当所研究員がアンモナイトセンター付近の地層から発掘される化石についての講義と、化石のミニ体験発掘を実施した。	

(ウ) 教育機関との連携

月 日	内 容	参加者数
8月 7 日(水)	「教職経験者研修Ⅱ」で、いわき市立好間中学校教諭が研修を実施した。	1人

エ 出前講座

要請を受け、いわきの恐竜時代についての講座を1回実施し、35人が受講した。詳細は3-(4)-ウのとおり。

オ レファレンス対応

資料貸出・返却 1件

貸出月日	返却月日	貸 出 先	内 容
4 月 1 日(土)	3 月31日(月)	筑波大学	体験発掘露頭から産出した古脊椎動物化石標本を、研究のため貸与した。

カ 調査研究事業

期 間	内 容
4 月	大久川河床から産出したギンザメ化石について、いわき市文化財課などと産出状況を現地調査した。
4 月～3 月	前年度から継続して、アンモナイトセンター敷地内の双葉層群足沢層から産出した脊椎動物化石について、筑波大学と共同で研究を実施した。
4 月～3 月	フタバサウルス産出地点付近の大久川河床に分布する双葉層群玉山層について、茨城県立博物館、福島県立博物館、茨城大学と共同で調査した。

キ 刊行物

月刊アンモナイト通信 第6巻4号～12号、第7巻1号～3号 毎月1号刊行

ク 運営委員会

日 時	委員数	議 題
第1回運営委員会 6月28日(金)10時～11時	8 人	令和5年度事業報告 令和6年度4～5月の事業報告 令和6年度6月以降の事業計画
第2回運営委員会 2月28日(金)10時～11時	9 人	令和6年度6～1月迄の事業報告 令和6年度2～3月の事業計画 令和7年度の事業計画

(5) いわき市考古資料館

いわき市常磐藤原町手這50番地の1 平成9年12月1日開館
委託者及び指定管理期間 いわき市 令和6年4月1日～令和11年3月31日

令和6年度の利用者は6,008人で前年度比986人、約19%増加した。内訳は入館者が4,900人で403人増（団体入館者は38件、1,172人で10件、258人増）、館外行事や出前講座の利用者は1,108人で5件、583人増となった。入館者増の主な理由は体験学習会の回数を増やしてより参加しやすくなったこと（78件、1,838人で24件、316人の増）、そして7月からの企画展の年間テーマとした縄文時代は考古学関係者だけでなく広く注目を集める時代区分であることから、興味、関心を持つ方々の入館者が増えたことが考えられる。館外行事や出前講座の利用者増の主な理由は件数の増とともに、感染症対策のために見送られていた中田横穴の見学会が再開され職員が解説などを実施したことによる利用者の増である。

新たな指定管理期間の1年目として、これまでの管理運営で培ってきた経験と実績を生かした事業を展開した。主に企画展、講座・講演会、体験学習会を継続したが、いわき市内の遺跡とその発掘調査の成果をもとに地域の歴史と魅力を紹介することを目指した。

企画展では最新の発掘成果と年間テーマ「縄文時代」に関する展示会とし、その内容に沿った解説会、講演会を実施してより深い理解につなげた。

小学校の校外学習等をはじめとする児童、生徒等の団体利用に際しては、わかりやすい展示解説とともに、まが玉づくりや土器・土偶・埴輪づくりなどの体験学習を実施し、市内の出土品を参考にするなど歴史への関心を深める機会とした。

利用者からは「遺跡がこのように沢山発掘・保存され、研究されていることを知りませんでした。この地域の豊かな歴史をもっと公報して住民が共有できたらいいのと思いました」という感想が寄せられたことから、引き続き丁寧な展示と解説とともに展示内容の更新に努めたい。

ア 常設展示事業（団体入館）

学校・公民館・支所・各種団体への展示解説及びまが玉づくりなどの体験指導を実施した。いわき市内から出土した土器・石器などを実見し触れるなかで、様々なものづくりを体験しながらいわきの歴史の一端を伝えた。次のように38団体、計1,172人が利用した。

月 日	団 体 名	内 容	利用者数
4月19日(金)	いわき市立藤原小学校	見学、まが玉づくり	52人
	いわき市立小名浜東小学校	見学、まが玉づくり	77人
4月26日(金)	いわき市立磐崎小学校	見学、まが玉づくり	96人
	いわき市立高坂小学校	見学、まが玉づくり	60人
5月1日(水)	いわき市立小名浜第三小学校	見学、まが玉づくり	73人
5月2日(木)	いわき市立中央台南小学校	見学、まが玉づくり	34人
	福島原発震災情報連絡センター	見学	25人
5月10日(金)	二本松市立小浜中学校	見学、まが玉づくり	32人
5月13日(月)	古代史紀行磐城国	見学	15人
5月23日(木)	二本松市立二本松第三中学校	見学、まが玉づくり	88人
6月8日(土)	放課後等デイサービスコーシュリー	土器・土偶・はにわづくり	10人
6月16日(日)	国見町郷土史研究会	見学	26人
6月24日(月)	いわき市立錦公民館	まが玉づくり	4人
6月25日(火)	いわき市立湯本第三小学校	見学、まが玉づくり	35人
7月7日(日)	福島県連盟ガールスカウト第22団	土器・土偶・はにわづくり	10人
7月10日(水)	いわき市立平第一小学校	見学、まが玉づくり	64人
7月14日(日)	福島県連盟ボーイスカウト第10団	まが玉づくり	13人
7月23日(火)	アトリエハウス児童クラブ	見学、まが玉づくり	46人
7月30日(火)	(一社)一心会放課後等デイサービスプラムだいすき	まが玉づくり	19人
9月6日(金)	いわき市立磐崎公民館(女性セミナー)	見学、まが玉づくり	17人
9月25日(水)	いわき市立久之浜第一小学校	見学、まが玉づくり	27人
10月1日(火)	いわき市立藤間中学校	見学、まが玉づくり、 土器・土偶・はにわづくり	9人
10月4日(金)	いわき市立遠野小学校	見学、まが玉づくり	31人
10月8日(火)	デイサービス心	見学	7人
10月17日(木)	国際メディカル専門学校	見学、まが玉づくり	17人
10月18日(金)	じょうばん福祉作業所	土器・土偶・はにわづくり	29人
10月20日(日)	大安場歴史ツアー	見学	35人
11月2日(土)	学べるコムネット放課後等デイサービスらいむ	見学、まが玉づくり	11人
11月7日(木)	いわき市立山田公民館市民講座「宝麗者大学」	見学	12人
11月9日(土)	二本松市立安達公民館あだちチャレンジ教室	見学、土器・土偶・はにわづくり	22人
11月14日(木)	学校法人南光学園東北高等学校泉キャンパス	見学、土器・土偶・はにわづくり	27人
11月22日(金)	いわき市立山田公民館市民講座「女性セミナー」	見学	13人
12月5日(木)	いわき市立金山公民館	見学	12人
12月7日(土)	i-steep(株)放課後等デイサービスグッドjob	まが玉づくり体験	14人
1月20日(月)	だいせんデイサービス	見学	15人
2月7日(金)	文化財保護審議会	見学	13人
2月12日(水)	いわき市立平第四小学校	見学・まが玉づくり体験	52人
2月22日(土)	青少年育成市民会議赤井支部	まが玉づくり体験	30人

イ 企画展示事業

「令和5年度 発掘速報展」「いにしえをめぐる いわきの縄文土器」「いにしえをめぐる いわきの縄文遺跡」の3企画展を実施した。前年度の発掘調査等の報告、そして縄文時代を年間テーマとした2つの企画展である。

「発掘速報展」では、市内の発掘調査の最新の成果を遺跡毎に紹介した。内容としては前年度同様、

J Rいわき駅周辺の再開発に伴う平城跡の発掘調査の成果が中心となり、市内平在住の利用者が興味深く観覧している姿も見受けられた。

縄文時代を主題にした2つの企画展では、市内の遺跡から出土した縄文土器の集大成として多数の遺物を展示した。縄文土器の造形に関心を寄せる人は多く、会期中は熱心に観覧し丁寧に写真撮影する利用者が見受けられるなど、利用者増の要因の一つになった。

利用者からは、「こんなにたくさんの土器などが所蔵されているとは知りませんでした」「縄文土器の豊かな装飾性がすばらしいと思いました」「見たことがない縄文土器がたくさんあって、ほれぼれと鑑賞しました」「いわきの方々が地元を大切に努力して、伝え、継承して下さったおかげでたくさんの見たことのない遺跡を知り見学させて頂けました」など好意的な感想が寄せられ、一定程度、利用者の知的欲求に応えることができた企画展だったと考えている。

ア) 第1回企画展「令和5年度発掘速報展」	
4月20日(土)～7月7日(日) 1,322人	前年度に実施した試掘・確認調査、発掘調査、及び報告書刊行遺跡の出土品を展覧し、市民が郷土の歴史について理解を深めるきっかけとした。
関連事業	
a 遺跡報告会 5月12日(日)13時30分～15時 16人 報告 当財団事務局調査係職員	
b 展示解説会 5月12日(日)15時～16時、6月16日(日)14時～15時 計18人	
イ) 第2回企画展 いにしえをめぐる「いわきの縄文土器」	
7月20日(土)～11月17日(日) 1,951人	愛谷遺跡や大畑貝塚等の市内の遺跡からは、様々な文様や形を有する土器が多数出土しており、それぞれの組み合わせは、年代決定の「ものさし」にもなっている。本展では、市内各地から出土した縄文土器をとおして、当時のいわき地方に生きた縄文人の造形に込めた思いを紹介した。
関連事業	
a 展示解説会 8月24日(土)、10月27日(日)いずれも14時～15時 計17人	
b 講演会「ふくしま縄文ミステリー」 10月20日(日)14時～15時30分 56人	講師 本間 宏氏（元福島県文化財センター白河館まほろん副館長）
ウ) 第3回企画展 いにしえをめぐる「いわきの縄文遺跡」	
11月30日(土)～3月30日(日) 1,207人	縄文時代の生活の様子や、縄文人がいかにして自然と調和、共生していたのかを、市内で発掘調査された縄文遺跡や道具類等の出土品から紹介、解説した。
関連事業	
a 展示解説会 12月7日(土)、3月9日(日)いずれも14時～15時 計11人	
b 講演会「縄文人の選択 ―千葉といわきの発掘成果から―」 2月23日(日)14時～15時30分 54人	講師 西野雅人氏（千葉市埋蔵文化財調査センター所長）

ウ 講演会事業

企画展の年間テーマの内容にあわせた講演会、講座、展示解説会を実施し、いわき市の歴史について地域や時代毎に理解を深めることを目指した。常設展示室の展示資料を取り上げた「考古資料館講座」では市内の代表的な遺跡や出土品について解説し、ボランティア会員の勧誘、活動の活発化を図るきっかけにもしている。さらに自由研究、考古資料館寄席、生涯学習プラザとの連携事業など、様々な機会をとおして地域の歴史についての理解を深める機会を提供した。

ア) 考古資料館講座（全3回）	
6月2日(日)、9月8日(日)、12月1日(日)いずれも10時～11時30分 計27人	第1回はいわきの古墳について、第2回はいわきの縄文時代について、第3回は縄文時代の生活についてそれぞれ焦点をあて、これまでに実施された発掘調査の成果について解説した後、展示室内で資料を見学した。考古学や文化財への関心、理解を深めるとともに、その魅力を伝えている当館ボランティアの活動も紹介し、参加を呼びかけた。
イ) 自由研究教室「縄文土器を調べてみよう」	
7月28日(日)10時～11時30分 4人	小学生を対象に、いわき市内から出土した縄文土器を観察し、縄文土器の形や作り方と道具を解説した後、縄文土器をつくった。終了時、参加者には修了証を渡し、当館の縄文博士に認定した。
ウ) 考古資料館寄席	
11月17日(日)14時～15時40分 57人	山椒家小粒氏、紫蘇亭小夏氏、武相亭八木助氏が、今年度企画展の主題「縄文時代」にちなんで落語を上演したほか、調査係研究員が発掘調査の経験談等を紹介し、笑いを交えながら考古学に親しむきっかけとした。

エ 体験学習事業

前年度に引き続き毎月土、日曜日や大型連休、夏・冬の長期休暇等にあわせて、体験学習会を実施した。いわき市内から出土した遺物について学びながらその出土品をつくることで当時の人々の暮らしに思いを馳せ、主に親子連れの参加者が楽しみながら考古学に親しむ機会とした。

考古資料館まつりは体験学習会の内容に火おこしと弓矢の体験を加え、古代の生活体験をより実践的に体験する機会とした。当日は敷地内にキッチンカーが出店し参加者の食事の機会を提供するとともに、当館利用者にとどまらない賑わいの創出を図った。

利用者からは「まが玉づくりに参加しました。磨けば磨くほどつるつるしていくところが、楽しかったです。やめるにやめられず終わりどころが分からなくなります」「はにわを作製させていただきました。丁寧に教えていただいたのでコツをつかみながらこだわりの一品を完成させることができました」「やってみないとわからないことが出来た。よかったです」「むかしの人は、ひおこしをするのが、たいへんなんだなと思いました。今のじだいには、いろいろなものがあるといいなと思いました」「初めて作りましたが、難しかったです。古代の人々は器用ですごいなと思いました」といった感想が寄せられ、実際に体験して様々なことに気づき、古代への想像を巡らせたことがわかる。

(ア) まが玉づくり、土器・土偶・はにわづくり
4月6日(土)～3月29日(土)いずれも10時～12時 計47回実施 計285人 (まが玉づくり98人、土器・土偶・はにわづくり187人) 毎月土・日曜日や祝日、市内小中学校の長期休暇にあわせて、まが玉づくりまたは土器・土偶・はにわづくりを実施した。定員各日10人。
(イ) 考古資料館まつり
5月6日(月)休、8月18日(日)、11月17日(日)いずれも10時～12時、14時～16時 計334人 まが玉づくり、土器・土偶・はにわづくり、火おこし、弓矢の体験学習会を実施した。また、キッチンカーを出店することで、昼食を楽しみながら、終日事業に参加する参加者も見られた。

オ ボランティア養成事業

小学校の校外学習等の体験学習をはじめ、考古資料館まつりでの体験学習会の運営に考古資料館のボランティアが協力している。豊富な経験と臨機な対応により円滑な事業の実施につながっている。今年度も、市を通して市内の中学生、高校生による青少年ボランティアに依頼、協力を得た。

また、ボランティアの募集、研鑽・研修を兼ねた「考古資料館講座」を開講し、資料館の展示資料への理解を深めるなど市民が考古学への理解を深める機会とした。

(ア) 考古資料館ボランティア 登録者18人 活動実績 計15回

(イ) 青少年ボランティア 活動実績 2回 延べ20人

カ 保存事業（レファレンス対応）

いわき市内の遺跡から出土した資料の閲覧、貸出について、所管課と協議して対応したほか、いわきに関連する史実、資料等についての問い合わせに対応し、参考資料を紹介した。

(ア) 資料調査 8件

月 日	依 頼 者	内 容
5月27日(月)	奈良大学文学部文化財学科	餓鬼堂23号横穴・館山2号横穴墓出土品計3点 古墳時代の装飾付大刀に関する研究論文を執筆するため
	個人	愛谷古墳・小申田北18号横穴墓出土品計4点 鉄斧の集成及び再評価のため
8月28日(水)	個人	磐城平城からの移築建物の解体部材(長橋門の部材) 移築城郭建築物の調査のため
9月4日(水) ・同5日(木)	奈良大学文学部文化財学科	龍門寺遺跡出土土器160点 弥生時代における布目圧痕土器の研究のため
2月9日(日)	大洗町教育委員会	玉山古墳出土壺形土器 81点 大洗町磯浜古墳群出土資料との比較検討のため
2月12日(水)	国立歴史民俗博物館	綱取貝塚・愛谷遺跡・連郷遺跡出土人面付土器 5点 顔身体土器の通文化比較にみる身体・モノ認識 の一環としての資料図化・観察・写真撮影3D 計測による実測のため

月 日	依 頼 者	内 容
2月25日(火)	南山大学	愛谷遺跡・作B遺跡出土土偶 10点 土偶形状の三次元計測 研究(論文作成)のため
2月26日(水)	福島県文化振興財団	龍門寺遺跡出土弥生土器及び石器 49点 根田遺跡と龍門寺遺跡出土遺物の比較・検討 福島県文化財調査報告書「農山村地域復興基盤 総合整備事業関連遺跡調査報告 4 根田遺跡」の 執筆のため

(イ) 資料貸出・返却 8 件

貸出月日	返却月日	貸 出 先	内 容
4月6日(土)	画像データ 提供	(公財)福島市振興公社 じょーもぴあ宮畑	荒田目条里遺跡 原色図版第三 1号木簡(表)・2号木簡(表・裏) 企画展「速報展 西久保遺跡～出土 木簡の語る古代陸奥国・信夫郡～」に使用
5月16日(木)	9月10日(火)	福島県立博物館	大畑貝塚出土品 1 点 夏の企画展「縄文DX-会津・法正尻 遺跡と交流の千年紀」に展示
7月19日(金)	画像データ 提供	宮崎県立西都原考古博物館	根古屋遺跡出土品図版 2 点 開館 20 周年記念特別展 展示会Ⅱ 『「土偶の美」と「縄文の美」～東北日本と九州』の展示図録及び展示解説バ ナーに掲載
8月5日(月)	10月31日(木)	いわき市勿来関文学歴史館	いわき市所蔵「山部家文書」5 点 テーマ展「いわき南部を治めた藩」に 展示
11月1日(金)	2月2日(日)	いわき市暮らしの伝承郷	岸遺跡・番匠地遺跡・大平B遺跡・清水 遺跡・白岩堀ノ内遺跡・上ノ台遺跡・荒 田目条里遺跡・平城跡(第4次)・神谷作 古墳群(神谷作101号墳)・餓鬼堂横穴 3 ・平城跡(第19次)出土遺物計18点、図版 転載計30点 第2回企画展「馬と暮らし」に展示
12月24日(火)	画像データ 提供	郡山市歴史情報博物館	愛谷遺跡出土土偶 1 点 博物館展示パネルに使用
	2月12日(水)	国立歴史民俗博物館	大畑遺跡出土 縄文土器 1 点 総合展示室第1展示室に展示
2月17日(月)	画像データ 提供	桶川市歴史民俗博物館	郡遺跡出土 深鉢形土器 1 点 企画展「ようこそはるばるおけがわ へ～縄文時代おモノと移動～」展示パ ネルに使用

(ウ) 問い合わせ対応 12件

キ 連携事業

(ア) 指定管理施設との連携

いわき市生涯学習プラザと連携し、企画展年間テーマとした縄文時代にちなんだ「いわきの考古学講座」を実施した。詳細は3-(4)-アのとおり。

(イ) 教育機関との連携

次のように3件、計9人が職場体験活動に参加した。

月 日	学 校 名	参加者数
9月3日(火) ～4日(水)	いわき市立磐崎中学校 3年生	1人
9月18日(水)	いわき市立好間中学校 3年生	3人

月 日	学 校 名	参加者数
10月 9 日(水)	いわき市立内郷第一中学校 3 年生	5 人

ク 博物館実習の受け入れ

資料の収集、保管、展示、調査研究、教育普及などの博物館業務を体験、理解する機会を提供し、学芸員として必要とされる知識・技術などの基礎・基本を修得する実習を実施した。当館の特性にちなみ、出土遺物の水洗、整理等の実習も実施した。

期間 8月17日(土)～同23日(金) 実習生 郡山女子大学短期大学部 2 年生 1 人

ケ 出前講座

学校や公民館等から要請を受け、まが玉づくりなどの体験学習指導や、地域の歴史について講義した。また、当館の魅力や利用法を紹介し、利用促進を図った。11団体、550人が受講した。詳細は3-(4)-ウのとおり。

コ 事業懇談会

日 時	出席委員数	議 題
第 1 回事業懇談会 11月 9 日(土) 10時～11時30分	5 人	令和 5 年度 事業報告について 令和 6 年度 経過報告について
第 2 回事業懇談会 3 月 29 日(土) 10時～11時30分	8 人	令和 6 年度 事業報告について 令和 7 年度 事業計画について

(6) 福島県いわき海浜自然の家

いわき市久之浜町田之網字向山53 平成 8 年 7 月 20 日開所
委託者及び指定管理期間 福島県 令和 6 年 4 月 1 日～令和11年 3 月 31 日

令和 6 年度の利用状況は、595団体、延べ利用者数45,258人で、前年度（513団体・36,402人）との比較では、団体数で115.9%、延べ利用者数では124.3%となった。

令和 6 年度は、新型コロナ流行前の令和元年と比較しても、団体数で125.2%、延べ利用者数でも116.6%と上回り、当財団が指定管理者となって以来、団体数・延べ利用者数とも最多となった。一昨年にひきつづき懸念されていた、ALPS 処理水の海洋放出による体験活動への影響は、学校教育団体・社会教育団体とも認められなかった。

学校教育団体については、利用団体数が285団体、延べ利用人数は25,199人であった。11月中旬まで続いた小学校の宿泊体験活動では、引率者アンケートによるとボディボードや磯遊びなどの、海浜活動のプログラムに対する満足度が特に高かった。また、小学校の利用が減少する10月以降は、幼稚園（保育所を含む）の利用団体数・人数が引き続き増加傾向にある。

社会教育団体については、利用団体数が243団体、延べ利用人数は11,627人であった。公民館や地域の民間団体をはじめ、合唱・吹奏楽、各種スポーツなど部活動の合宿による練習や、スポーツ少年団やクラブチームなどスポーツ団体等の利用に増加傾向が見られる。また、児童発達支援・放課後等デイサービスを提供している民間団体が、当所のプログラムを子どもたちに体験させるため、土・日曜日を中心に定期的に利用していることも、近年の顕著な傾向として挙げられる。更に、令和 4 年度から力を入れているファミリー層など少人数団体も利用者数が増加している。

施設管理に関しては、引き続き当所の「庁舎等管理規程」「危機管理マニュアル」等に基づき、利用者が安全・安心に利用できるよう努めた。また、東日本大震災以来利用を休止していた「冒険の森」については、放射線量の低減に伴い令和 4 年度より再整備に着手し、令和 6 年度に「第 3 コース」、令和 7 年度に「第 2 コース」の利用を再開した。

ア 施設利用状況

期 間	利用者数
4 月 1 日(月)～ 3 月 31 日(月)	595団体 延べ利用者数45,258人 (学校教育団体285団体 社会教育団体243団体 主催事業・その他67団体)

イ 主催事業

主催事業について、「自然の家であそんじゃお！（ミニ開放デー）」「春・秋のオープンデー」「スポーツフェスティバル」「クラフトのつどい」は、参加人数の制限を設けず、オープン参加制で実施した。特に、「春のオープンデー」については、事前の想定を大幅に上回る3,451人の来所者があり、ポスター・チラシおよび各種SNSなど、複数の手段を組み合わせた広報の成果が現れたものと推察される。

新緑・紅葉・早春の季節毎に開催した「里山さんぽ」については、電話のみの申し込みとしたが、各回とも募集開始当日中の短期間で定員に達し、事後のアンケートにおいても非常に好評であった。

その他の事業についても、申し込みにあたっては事業内容に応じ、電話やインターネットなど多様な方法を取り入れ利用者の利便性に配慮した。

(ア) 自然の家であそんじゃお！（ミニ開放デー）
4月14日(日)、同21日(日)、1月11日(土)、同19日(日)、2月22日(土)、3月8日(土)いずれも10時～14時 1月25日(土)17時～19時、2月15日(土)17時30分～19時30分 計459人 体育館とトリムランドを開放し、子どもたちの遊びの場を提供した。アスレチック遊具やニュースポーツ、オリエンテーリングをととして身体を動かす機会を設け、あわせて当所の理解と利用促進を図った。1月25日(土)及び2月15日(土)は、特別企画として「冬の星空観察会」を実施した。
(イ) 遊ぼう！初夏の海で
5月12日(日)10時～15時 49人 小学生とその家族を対象に、初夏の舟戸海岸で釣りや磯遊びを楽しみながら、親子のふれあいを深めた。
(ロ) 新緑の里山さんぽ～自然の家の冒険の森で春の息吹を感じよう～
5月15日(水)9時45分～13時 14人 中高年を対象に、新緑の冒険の森第3コースを楽しむことで、当所の魅力の発信と周知を図った。
(ハ) 春のオープンデー（第1回未来キッズ生き生き事業）
5月26日(日)10時～15時 3,451人 施設を県民へ広く開放し、野外炊飯、マウンテンバイク、昔遊び、ニュースポーツ等の体験活動や、キーホルダー作り等のクラフト体験活動をととして、野外活動やスポーツ、物作りの楽しさを実感し、子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図った。また、ボランティアスタッフや地域のスポーツ団体、福島県郡山自然の家等との連携により、様々な活動メニューを提供した。
(ニ) ミニ企画事業「親子でじゃがいも収穫体験！」
6月15日(土)10時30分～11時30分 14人 未就学児から小学生の親子を対象に、じゃがいもの収穫体験や、簡単な料理を楽しむことをととして食への関心を高め、当所の魅力の発信と周知を図った。実施にあたっては、環境支援ボランティアの協力を得た。
(ホ) ふれあいサマーキャンプ
7月27日(土)～同28日(日) 参加者 36人（内1人1日のみ、日帰り） 県内の小学校4～6年生を対象として、いかだ乗りやボディボード、野外炊飯、キャンプファイア等を体験した。自然体験活動をととして自然や人とふれあう喜びを体得するとともに、協調性・社会性や自立心を養った。
(ヘ) スポーツフェスティバル（第4回未来キッズ生き生き事業）
10月6日(日)10時～14時30分 1,103人 昨年、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、様々なスポーツが行われたオリンピック競技を身近に体験し、子どもから大人まで一緒に楽しみながら参加者の体力・運動能力の向上、心身のリフレッシュ及び健康増進を促した。また、ボランティアスタッフや地域のスポーツ団体等とのふれあいにより、子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図った。
(ト) 秋のオープンデー（第5回未来キッズ生き生き事業）
10月27日(日)10時～15時 670人 施設を県民へ広く開放し、野外炊飯、マウンテンバイク、段ボール迷路、ニュースポーツ等の体験活動や、クラフト体験活動（キーホルダー作り）をととして、野外活動やスポーツ、物作りの楽しさを実感し、子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図った。また、ボランティアスタッフや地域のスポーツ団体等とのふれあいにより、子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図った。特に、福島ファイヤーボンズによるバスケクリニックは好評であった。
(ケ) ふれあいオータムキャンプ
11月9日(土)～同10日(日) 21人 県内の小学校4～6年生を対象として、交流ゲーム、野外炊飯、星空観察会、背戸峨廊ハイキング等を実施し、自然体験活動をととして自然や人とふれあう喜びを体得するとともに、協調性・社会性や自立心を養った。特に、体育館でのテント宿泊は、新鮮な体験となったようだ。

(コ) ミニ企画事業「親子でさつまいも収穫体験！」
11月16日(土)10時30分～11時30分 34人 未就学児から小学生の親子を対象に、さつまいもの収穫体験や、簡単な料理を楽しむことをとおして食への関心を高め、当所の魅力の発信と周知を図った。実施にあたっては、環境支援ボランティアの協力を得た。
(ク) 紅葉の里山さんぽ～自然の家の冒険の森で里山の秋を感じよう～
11月20日(水)9時30分～13時 15人 中高年を対象に、紅葉の冒険の森第3コースを楽しむことで、当所の魅力の発信と周知を図った。
(シ) 親子のつどい
12月15日(日)10時～14時30分 88人 小学生とその家族を対象に、クラフト活動（クリスマスウォールツリー作り、お正月熊手作り）や家族交流ゲームを実施し、親子で季節にふさわしい活動、共同作業をとおして家族の親睦を深めた。
(ス) 冬を楽しもう！スキー教室
1月12日(日)10時～14時30分 34人 裏磐梯スキー場を会場に、スキー教室を開催した。普段、雪に親しむことの少ない浜通り地方の子どもたちが、福島県の風土の豊かさを感じるとともに、自然体験活動を楽しんだ。
(セ) 海浜ワークショップ
1月30日(木)10時～13時 23人 自然の家の閑散期を利用し、平日に成人を対象とすることで新たな利用者層を掘り起こすと共に、他者との交流の場を提供した。自然の素材を利用したワークショップ（草木染めのマクラメキーホルダー作り、ドライフラワーアレンジメント作り）を実施し、恵まれた自然環境にある当所の魅力を発信し、施設の周知を図った。
(ソ) クラフトのつどい
2月8日(土)10時30分～14時30分 475人 事前予約不要のオープン参加制で開催した。参加者はコースター・バスボム・ブックカバー・組紐・ステンドグラスしおり作りなどの様々なクラフト体験を楽しみ、多くの方々に当所についての理解を深めてもらう一助となった。また、独立行政法人国立高等専門学校機構福島高等工業専門学校「磐陽テックガレージ」との連携事業として、3Dプリンターによる海洋生物模型の製作実演および造形物の彩色体験を実施した。
(タ) 森の音楽会
3月9日(日)11時30分～14時30分 125人 豊かな自然環境にある当所で、いわき市ゆかりの音楽家である伊達LOW Strings（仙台フィルハーモニー管弦楽団）の演奏を楽しんでいただき、当所の魅力の発信と周知を図った。
(チ) 早春の里山さんぽ
3月26日(水)9時45分～13時 21人 中高年を主な対象に、早春の冒険の森第3コースを楽しんでいただき、当所の魅力の発信と周知を図った。

ウ 研修企画事業

(ア) 学校団体指導者事前研修会
4月18日(木)、同25日(木)、5月9日(木)、8月6日(火)いずれも9時30分～16時 延べ213校 令和6年度に宿泊活動で当所を利用する学校教育団体の指導者向けに、活動計画の立案や活動方法についての事前研修会と団体間の活動プログラム内容を調整した。
(イ) 活動プログラム研修会
5月17日(金)9時15分～14時30分 25人（14団体） 令和6年度に当所を利用する社会教育団体を対象に、施設見学・プログラムの実技研修等をおして、自主的な活動の進め方や活動計画作成に理解を深め、円滑な活動ができるよう助言や指導を実施した。
(ウ) ボランティア養成講座
4月28日(日)、7月14日(日)、9月29日(日)、12月1日(日)いずれも9時30分～15時 計53人 自然体験活動を支援するために必要な知識と技能を習得するとともに、ボランティアスタッフとしての資質向上を図った。

エ 未来キッズ生き生き事業

ボディボード、砂遊び、いわきF Cの協力による運動体験、親子でノルディックウォーク体験、いわき市出身の現役プロ野球選手らの指導による野球教室及びトークショーなどを実施し、運動不足の解消や体力向上を促進し、好評を博した。全6回で、第1・4・5回は主催事業との共催事業である。福島県委託事業。

ア) 第2・3回未来キッズ生き生き事業
8月18日(日)10時～12時(第3回)、13時～15時(第2回) 計97人 当初は8月10日(土)・同17日(土)に予定していたが、台風の影響により日程を変更して実施した。ボディボード等の海活動をととして身体を動かす機会を提供した。
イ) 第6回未来キッズ生き生き事業
12月8日(日)10時～14時30分 804人 子どもたちにレクリエーションやスポーツなどをととして身体を動かす機会を提供し、参加者の体力・運動能力の向上、心身のリフレッシュ及び健康増進を促した。いわきF Cの協力による運動体験、いわき市出身の現役プロ野球選手である佐藤都志也氏らの指導による野球教室、様々な屋外・屋内スポーツ、クラフト体験などを実施した。また、いわきにゆかりのあるアスリートとふれあうことで、参加者に夢やあこがれを身近に感じてもらった。

オ 心のケアが必要な子ども(不登校等)を対象とした自然体験事業

福島県内の不登校傾向にある児童生徒等を対象に、関係機関やスクールカウンセラーと連携を図りながら自然体験活動や交流体験の機会を提供した。いわき市については、市総合教育センターの協力を得た。福島県委託事業。

わくわく自然体験
5月24日(金)9時30分～16時、9月15日(日)10時～15時、10月30日(水)10時～14時50分、11月16日(土)9時45分～13時30分、2月5日(水)10時～15時 計56人 魚釣り、貝拾い、磯遊び、野外炊飯、ハイキング等の自然体験活動、茜染め、貝の壁飾り、貝の絵ろうそく、七宝焼き等のクラフト体験活動やスポーツ大会(キンボール、ペンギンホバーボール等)、家庭教育支援チームによる保護者対象の「教育相談」を実施した。

カ 連携事業

ア) 指定管理施設との連携

当財団指定管理施設と連携し、3事業を実施した。詳細は3-(4)-アのとおり。

イ) 福島県郡山自然の家との連携

月 日	内 容	参加者数
6月2日(日)	企画事業「みどりのオープンデー」 (クラフト体験)	200人

キ 出前講座

要請を受け、公民館でクラフト体験を実施し、2団体計47人が参加した。詳細は3-(4)-ウのとおり。

ク 環境ボランティア活動

月 日	回数・参加者数・内容
4月28日(日)～3月15日(土) いずれも10時～14時30分	全8回 計134人 当所内外における各種活動場所の環境整備を実施した。 花壇・野菜手入れ(東・西ピロティ、なみなみ花壇)、 海岸清掃(舟戸海岸、四倉漁港第四船泊)を実施した。 併せてミニ企画事業「親子でじゃがいも収穫体験!」「親子でさつまいも収穫体験!」の支援活動も実施した。

(7) いわき市生涯学習プラザ

いわき市平字一丁目 1 番地 平成14年 4 月16日開館

委託者及び指定管理期間 いわき市 令和 2 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月31日

令和 6 年度の利用者数は74,403人で、前年度に比べて12,511人の増となった。施設使用許可申請数は2,192件で85件の減となっている。この利用者数増加の要因は、第20回生涯学習フェスティバル(5,153人)、第55回諸流いけばな展(485人)等の事業の参加者や、一般の利用者(高校生利用)が前年度に比べて増加したことが要因と思われる。

ア 講座事業

市民講座は、高度で専門的な講座、地域的課題に関する講座、施設の機能を生かした講座、親子・異世代間交流に関する講座、初心者から上級者向けのパソコン講座など、現代の様々な課題に対応する主催講座を実施した。

(ア) 高度で専門的な講座 8 講座 33回 延べ892人

a	いわきの文化総合講座 1 「草野心平の旅」 (教養充実講座 I ①)
	6 月16日(日)13時30分～15時 20人 受講登録24人 長谷川由美専門学芸員(草野心平記念文学館)から、世界14か国を旅した詩人草野心平の生涯について学んだ。指定管理施設との連携として3-(4)-アに再掲。
b	いわきの文化総合講座 2 「根岸官衙遺跡群と周辺の遺跡」 (教養充実講座 I ②)
	7 月21日(日)13時30分～15時 24人 受講登録28人 大滝駿介学芸員(当財団事務局調査係)から、国指定史跡の根岸官衙遺跡群を中心とした飛鳥から奈良時代にかけての市内の古代の遺跡を学んだ。指定管理施設との連携として3-(4)-アに再掲。
c	いわきの文化総合講座 3 「いわきの地質と化石」 (教養充実講座 I ③)
	8 月18日(日)13時30分～15時 16人 受講登録18人 歌川史哲研究員(アンモナイトセンター)から、いわき市周辺に分布する地質や化石の最新の研究から分かってきたいわきの地質時代について説明を受けた。指定管理施設との連携として3-(4)-アに再掲。
d	いわきの文化総合講座 4 「いわきの道路元標」 (教養充実講座 I ④)
	9 月15日(日)13時30分～15時 21人 受講登録24人 矢島敬之館長(暮らしの伝承郷)から、1919(大正8)年道路法施行令に基づき設置された市内の道路元標について学んだ。指定管理施設との連携として3-(4)-アに再掲。
e	いわきの文化総合講座 5 「勿来の関にまつわる文学」 (教養充実講座 I ⑤)
	10月20日(日)13時30分～15時 11人 受講登録13人 渡邊千香学芸員(勿来関文学歴史館)から、和歌の歌枕として知られる「勿来の関」に関わる文学について学んだ。指定管理施設との連携として3-(4)-アに再掲。
f	はじめよう！Word (パソコン実用講座 I)
	7 月 4 日(木)～同25日(木)18時30分～20時30分 全 4 回 延べ90人 受講登録26人 Word初心者対象講座。文字のコピー・貼り付け等の基礎的な操作や段落・フォントサイズの変更等を理解し、実際に表を作成した。
g	Wordステップアップ！ (パソコン実用講座 I)
	9 月 5 日(木)～同26日(木)18時30分～20時30分 全 4 回 延べ115人 受講登録30人 Word中級者対象講座。Wordを使った実用的な文書作成や図形作成、差し込み印刷等応用的なスキルを学んだ。
h	今日からはじめる「スマホ練習」講座 (IT情報講座)
	10月 9 日(木)～同23日(木)13時～15時 全 3 回 延べ55人 受講登録20人 日常生活での使用場面が増え、高機能になりつつあるスマートフォンの基本操作を学んだ。
i	はじめよう！Excel (パソコン実用講座 II)
	11月 7 日(木)～同28日(木)18時30分～20時30分 全 4 回 延べ110人 受講登録30人 Excel初心者対象講座。データ入力、編集やセルの入力方法等の基礎的な操作を理解し、表の作成からグラフ作成を学んだ。
j	いわきの考古学講座 (いわき再発見講座①)
	11月10日(日)13時30分～15時 39人 受講登録42人 長島雄一氏(日本考古学協会)を講師に迎え、いわきの縄文時代について様々な角度から学び、理解を深めた。いわき市考古資料館との連携として3-(4)-アに再掲。

k	いわきの考古学講座（いわき再発見講座②）
12月8日(日)13時30分～15時	41人 受講登録45人 滝沢勇馬研究員（当財団事務局調査係）を講師に迎え、「遺跡からみる縄文人の生業」を題とし、市内遺跡の狩猟活動から縄文時代の生業について学んだ。いわき市考古資料館との連携として3-(4)-アに再掲。
1	いわきの考古学講座（いわき再発見講座③）
1月12日(日)13時30分～15時	41人 受講登録44人 大滝駿介研究員（当財団事務局調査係）を講師に迎え、「いわきの地名がついた縄文土器」を題とし、土器の名称の由来などについて学んだ。いわき市考古資料館との連携として3-(4)-アに再掲。
m	Excelステップアップ！（パソコン実用講座Ⅱ）
1月23日(木)～2月13日(木)18時30分～20時30分	全4回 延べ99人 受講登録33人 Excelの便利な編集機能や関数の操作方法を学んだ。
n	いわきの考古学講座（いわき再発見講座④）
2月9日(日)13時30分～15時	58人 受講登録60人 吉田秀享氏（川俣町教育委員会）を講師に迎え、「縄文時代晩期から弥生時代初めのいわき」を題とし、稲作文化などについて学んだ。いわき市考古資料館との連携として3-(4)-アに再掲。
o	Excel上級講座（パソコン実用講座Ⅱ）
2月27日(木)～3月27日(木)18時30分～20時30分	全4回 延べ102人 受講登録28人 Excel上級者を対象にデータ分析、作業を効率化するマクロ等を学んだ。
p	いわきの考古学講座（いわき再発見講座⑤）
3月2日(日)13時30分～15時	50人 受講登録54人 斎藤義弘氏（じょーもびあ宮畑）を講師に迎え、「宮畑遺跡にみる縄文時代の建物・まつり・交流」を題とし、縄文時代の交流などについて学んだ。いわき市考古資料館との連携として3-(4)-アに再掲。

(イ) 地域的課題に関する講座 4講座 11回 延べ127人

a	おひざにだっこ（子育て講座）
8月2日、同9日(金)10時～12時	全2回 計3組6人 受講登録2組4人 乳幼児と保護者を対象に、歌や絵本の読み聞かせで楽しみ、育児に関する相談会を実施した。
b	産業まちづくり講座①「いわきの産業復興の歴史と展望」（環境・まちづくり講座）
10月20日(日)10時～12時	11人 受講登録15人 いわき市産業振興部職員を講師に迎え、東日本大震災後からの産業の推移を学び復興について考えた。
c	産業まちづくり講座②「いわきの農業と水産業を学ぼう」（環境・まちづくり講座）
11月10日(日)10時～12時	11人 受講登録14人 いわき市農林水産部職員を講師に迎え、いわき市の農水産物の魅力やブランド化に関する取り組みについて学んだ。
d	産業まちづくり講座③「いわき市の観光施策について」（環境・まちづくり講座）
11月24日(日)10時30分～11時40分	14人 受講登録16人 （一社）いわき観光まちづくりビューロー職員を講師に迎え、いわき市の観光施策に関する組織体制や取り組みについて学んだ。
e	今から取り組もう！防災講座(環境・まちづくり講座Ⅱ)
2月4日～同25日(火)10時～11時30分	全3回 延べ19人 受講登録9人 明治安田生命職員を講師に迎え、在宅避難や地震時の行動など家庭の防災力を高める方法を学んだ。
f	初心者向け資産形成講座(社会経済講座)
2月8日(土)、同22日(土)13時～14時30分	全2回 延べ44人 受講登録28人 明治安田生命職員を講師に迎え、NISAやiDeCoなどの資産形成や外貨活用等のリスクについて学んだ。
g	産業まちづくり講座④「いわき市の観光地・有名店」（環境・まちづくり講座）
3月1日(土)10時～11時30分	22人 受講登録26人 （一社）いわき観光まちづくりビューロー職員を講師に迎え、いわき市の観光地・有名店などについて学んだ。

(ウ) 施設の機能を生かした講座 12講座 63回 延べ763人

a	四季を生ける（華道講座）
	6月8日(土)～3月8日(土)14時～16時 全4回 延べ33人 受講登録10人 いけばな松風の講師による指導で、四季折々の生け花の基本を学んだ。
b	英語で話そう！（語学講座Ⅰ）
	6月13日(木)～7月18日(木)18時30分～20時30分 全6回 延べ96人 受講登録22人 イザベラ・マリヤ氏（いわき市外国語指導助手）を講師に迎え、簡単な英会話のコミュニケーションを体感し、国際理解を深めた。
c	七宝でつくるアクセサリー1（ものづくり講座①）
	6月15日(土)、同22日(土)10時～12時 全2回 延べ21人 受講登録13人 古川栄子氏を講師に迎え、七宝焼きの基本技法を学び、ブローチやペンダント等のオリジナルアクセサリーを製作した。
d	自分だけの器をつくる（陶芸講座Ⅱ）
	6月24日(月)～8月5日(月)18時30分～20時30分 全4回 延べ70人 受講登録20人 秤屋苑子氏（陶芸家）を講師に迎え、創作する喜びを深めながら陶芸の基本技術を学び、自分だけの器を製作した。
e	楽しく！美BODY（健康体力づくり講座Ⅰ）
	8月23日(金)～9月27日(金)19時30分～21時30分 全5回 延べ50人 受講登録16人 吉田美保氏を講師に迎え、ストレッチ・ヨガ・ピラティス等を楽しみながら体験し、美しい姿勢・身体作りを学んだ。
f	七宝でつくるアクセサリー1（ものづくり講座① 追加分）
	8月24日(土)、同31日(土)10時～12時 全2回 延べ16人 受講登録8人 古川栄子氏を講師に迎え、七宝焼きの基本技法を学び、ブローチやペンダント等のオリジナルアクセサリーを製作した。6月開講講座の申込者が定員超過となったため、講師と協議の上、追加講座を開催した。
g	茶道への誘い（茶道講座）
	9月11日(木)～11月6日(木)18時30分～20時30分 全8回 延べ72人 受講登録12人 鈴木宗恵氏〔（一社）裏千家淡交会いわき支部〕を講師に迎え、お点前の技術、茶道具の扱い方、所作を学び、おもてなしの心に触れながらお茶を点てることを楽しんだ。
h	目指せ！ペラペラ（語学講座Ⅱ）
	9月18日(木)～10月23日(木)18時30分～20時30分 全6回 延べ100人 受講登録22人 シェザヌル・ラマン氏（いわき市外国語指導助手）を講師に迎え、より高度な英会話のコミュニケーションを学んだ。
i	大人の陶芸（陶芸講座Ⅰ）
	10月5日(土)、同12日(土)10時～12時 全2回 延べ35人 受講登録18人 小野田利治氏（大堀相馬焼春山窯13代目）を講師に迎え、土の感触を楽しみながら陶芸の基本を学び、自分だけの器を製作した。
j	太極拳で健康になろう！（健康体力づくり講座Ⅱ）
	10月13日(日)～11月24日(日)10時～12時 全5回 延べ73人 受講登録17人 吉田みや子氏を講師に迎え、姿勢や動きに注意しながら太極拳を実践し、心身を整えた。
k	クラフトバンドでバックを作ろう（ものづくり講座②）
	11月2日(土)～12月14日(土)10時～12時 全4回 延べ41人 受講登録12人 鈴木豊美氏を講師に迎え、クラフトバンドで四つ畳編みの思い思いのバッグを作った。
l	はじめての俳句（教養充実講座Ⅱ）
	11月17日(日)～2月23日(日)13時30分～15時 全4回 延べ41人 受講登録13人 池部月女氏（いわき市俳句連盟）を講師に迎え、初心者を対象に俳句を学んだ。
m	七宝でつくるアクセサリー2（ものづくり講座③）
	1月18日(土)、同25日(土)10時～12時 全2回 延べ20人 受講登録12人 古川栄子氏を講師に迎え、七宝焼きの基本技法を学び、ブローチやペンダントなどのオリジナルアクセサリーを作製した。

n	太極拳で健康になろう！（健康体力づくり講座Ⅱ 追加分）
1月19日(日)～2月23日(日)10時～12時	全5回 延べ54人 受講登録13人 吉田みや子氏を講師に迎え、姿勢や動きに注意しながら太極拳を実践し、心身ともに整えた。 10月開講講座の申込者が定員超過となったため、講師と協議の上、追加講座を開催した。
o	クラフトバンドでバッグを作ろう（ものづくり講座② 追加分）
1月25日(土)～3月8日(土)10時～12時	全4回 延べ41人 受講登録12人 鈴木豊美氏を講師に迎え、クラフトバンドで四つ畳編みの思い思いのバッグを作った。 11月開講講座の申込者が定員超過となったため、講師と協議の上、追加講座を開催した。

(エ) 親子・異世代間交流に関する講座 6講座 12回 延べ158人

a	親子でつくる自分だけの器 1 A・1 B（親子陶芸講座①・②）
7月6日(土)	A 10時～12時 7組16人 受講登録8組18人 B 14時～16時 8組18人 受講登録8組18人 小野田利治氏（大堀相馬焼春山窯13代目）を講師に迎え、親子で楽しく陶芸を体験し、世界でひとつだけの器を製作した。
b	木工体験教室（親子ものづくり講座①）
7月20日(土)、同27日(土)10時～12時	全2回 延べ9組20人 受講登録5組11人 NPO法人いわきの森に親しむ会の指導を受けながら、リュールシロフォン（楽器）やマガジンラック等を製作した。
c	目指せ名人！将棋教室（親子ふれあい講座Ⅰ）
8月10日(土)、9月7日(土)（台風5号のため8月17日(土)から延期）10時～12時	全2回 延べ9組18人 受講登録7組14人 日本将棋連盟いわき棋友会支部の指導を受けながら、将棋の基本を学び、家族の交流を図った。
d	ちぎり絵でクリスマスカードをつくろう！（親子ものづくり講座②）
12月7日(土)10時～12時	7組16人 受講登録9組22人 萩原光明氏を講師に迎え、色紙をちぎって、ツリーやトナカイ、サンタクロースのかわいいクリスマスカードを作った。
e	家族でつくるクリスマスリース（親子ものづくり講座③）
12月21日(土) 10時～12時	6組14人 受講登録8組18人 いわき海浜自然の家を講師に迎え、家族で協力し、本格的なクリスマスリースを製作した。いわき海浜自然の家との連携として3-(4)-アに再掲。
f	ベビーヨガ（親子ふれあい講座Ⅰ・Ⅱ）
3月10日(月)、同24日(月)10時～11時	全2回 延べ14組30人 受講登録8組17人 ヨガ指導者の佐藤美佳氏を講師に迎え、赤ちゃんと親子一緒にヨガを実践した。
g	ベビーヨガ（親子ふれあい講座Ⅰ・Ⅱ 追加分）
3月10日(月)、同24日(月)11時30分～12時30分	全2回 延べ13組26人 受講登録8組16人 ヨガ指導者の佐藤美佳氏を講師に迎え、赤ちゃんと親子一緒にヨガを実践した。 申込者が定員超過となったため、講師と協議の上、同日の時間を増やして開催した。

イ ボランティア活用事業

プラザ利用の団体・サークルとの連携・協力による生涯学習活動の支援、市民の交流を深めることを目的としてボランティア活用事業を実施した。ITリーダーによるパソコン講座、子育て支援ボランティアによる幼児とその保護者向け講座及びサークル・団体が実施するサークル企画講座では、朗読教室、楽しい朗読、ラズベリーパイで電車を動かそう！等の講座を実施した。

(ア) ITリーダー企画講座（ボランティア活用事業Ⅰ） 11講座 11回 延べ238人

a	Outlook活用講座（ITリーダー企画講座①）
5月26日(日)10時～12時30分	21人 受講登録24人 電子メールの送受信、予定表、仕事管理表等便利な機能を学んだ。
b	Excel応用講座1（ITリーダー企画講座②）
6月30日(日)10時～12時30分	18人 受講登録23人 関数や数式を使わずに、データを集計、分析できる機能「ピボットテーブル」について学んだ。
c	Excel操作応用講座2（ITリーダー企画講座③）
7月28日(日)10時～12時30分	19人 受講登録24人 Excel中級者を対象に、「パワーピボット」のデータ集計を学んだ。

d	親子でアイロンプリントバックを作ろう（ＩＴリーダー企画講座④）
8月25日(日)10時～12時30分	16組40人 受講登録18組46人 パソコンを使いアイロンプリントのバックを製作した。
e	PowerPoint操作活用講座（ＩＴリーダー企画講座⑤）
9月29日(日)10時～12時30分	25人 受講登録27人 プレゼンテーションソフト「PowerPoint」を用いて、文字入力、図形や画像の挿入、グラフの入力等様々な使い方を学んだ。
f	Word操作応用講座（ＩＴリーダー企画講座⑥）
10月27日(日)10時～12時30分	23人 受講登録24人 「Word」の編集機能等、一歩進んだ操作方法を学んだ。
g	P D F 講座（ＩＴリーダー企画講座⑦）
11月24日(日)10時～12時30分	21人 受講登録24人 作成した文書ファイルが同じレイアウトで表示・印刷ができるP D Fについて学んだ。
h	カレンダー作成講座（ＩＴリーダー企画講座⑧）
12月22日(日)10時～12時30分	4組9人 受講登録7組16人 家族を対象に、思い思いの写真・画像を使いExcelでカレンダーを作成した。
i	GIMP講座（ＩＴリーダー企画講座⑨）
1月26日(日)10時～12時30分	21人 受講登録24人 画像編集ソフトGIMPを用いて画像の切り抜き、文字入れなどの編集方法を学んだ。
j	Google便利技講座（ＩＴリーダー企画講座⑩）
2月23日(日)10時～12時30分	21人 受講登録21人 Googleformsを使いインターネットでのアンケートの作成と回答仕方を学んだ。
k	エクセルマクロ講座(ＩＴリーダー企画講座⑪)
3月23日(日)10時～12時30分	20人 受講登録46人 エクセル内でおこなった操作を記録し、それを自動で再現するマクロについて学んだ。

- (イ) 子育て支援ボランティア(てんしのほほえみ)企画講座（ボランティア活用事業Ⅱ）
6講座 6回 延べ66人

a	ふれあいあそびうたでギュッしましょ!!（子育てボランティア活用講座Ⅱ①）
5月25日(土)10時30分～12時	3組9人 受講登録4組9人 歌や音楽にあわせて親子で身体を動かして遊んだ。
b	スクリュートをつくってあそぼう！（子育てボランティア活用講座Ⅱ②）
7月27日(土)10時30分～12時	2組7人 受講登録4組11人 牛乳パックでスクリュートを作って、水に浮かべて遊んだ。
c	シャベルをつくっておいもほりしましょ！（子育てボランティア活用講座Ⅱ③）
9月28日(土)10時30分～12時	5組14人 受講登録7組19人 牛乳パックでシャベルを作り、新聞紙の山の中で芋掘りを楽しんだ。
d	クリスマスのパタパタ★オーナメントづくり（子育てボランティア活用講座Ⅱ④）
11月30日(土)10時30分～12時	3組9人 受講登録6組14人 紙を折ったり、絵を描いたりしてオーナメントを作った。
e	けんだまをつくってあそぼう！（子育てボランティア活用講座Ⅱ⑤）
1月25日(土)10時30分～12時	4組13人 受講登録6組20人 新聞紙でけんだまを作ったり、歌や音楽にあわせて親子で身体を動かして遊んだ。
f	思い出のアルバムづくり(子育てボランティア活用講座Ⅱ⑥)
3月22日(土)10時30分～12時	6組14人 受講登録7組17人 台紙に写真の枠を作り、シールなどで飾り付けをし、オリジナルのアルバムを作った。

- (ウ) サークル企画講座（ボランティア活用事業Ⅲ） 7講座 37回 延べ291人

a	朗読教室1（夜の部）（サークル企画講座①）
5月15日(水)～7月24日(水)18時30分～20時	全6回 延べ37人 受講登録8人 いわき絵本と朗読の会の指導により、瀬戸内寂聴「無常を生きる」等の文学作品の魅力を学びながら朗読方法を習得した。

b 楽しい朗読 1（昼の部）（サークル企画講座②）
5月17日(金)～7月26日(金)13時30分～15時 全6回 延べ51人 受講登録10人 いわき絵本と朗読の会の指導により、瀬戸内寂聴「無常を生きる」等の文学作品の魅力を学びながら朗読方法を習得した。
c 朗読教室 2（夜の部）（サークル企画講座③）
9月11日(水)～11月27日(水)18時30分～20時 全6回 延べ41人 受講登録9人 いわき絵本と朗読の会の指導により、池部良「食い食い虫」を味わい、朗読のコツを身につけた。
d 楽しい朗読 2（昼の部）（サークル企画講座④）
9月13日(金)～11月29日(金)13時30分～15時 全6回 延べ54人 受講登録10人 いわき絵本と朗読の会の指導により、池部良「食い食い虫」を味わい、朗読のコツを身につけた。
e 朗読教室 3（夜の部）（サークル企画講座⑤）
1月15日(水)～3月26日(水)18時30分～20時 全6回 延べ46人 受講登録9人 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、宮部みゆき「本所深川ふしぎ草紙」などの時代小説の魅力を学びながら朗読方法を習得した。
f 楽しい朗読 3（昼の部）（サークル企画講座⑥）
1月17日(金)～3月28日(金)13時30分～15時 全6回 延べ54人 受講登録16人 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、宮部みゆき「本所深川ふしぎ草紙」などの時代小説の魅力を学びながら朗読方法を習得した。
g ラズベリーパイで電車を動かそう！（サークル企画講座⑦）
3月15日(土)13時～16時 4組8人 受講登録5組10人 いわきラズベリーパイクラブの指導により、小型コンピューター「ラズベリーパイ」使って模型の電車を動かすプログラミングを楽しんだ。

ウ 人材育成事業

市民講師経験者のためのスキルアップ研修会

講座運営力アップ学習会～受講者の学ぶ意欲を引き出すために～
1月18日(土)13時30分～16時20分 30人 受講登録26人 いわきまなびあいバンクの登録者を対象に、坂本義仁氏（いわき市総合教育センター所長）を講師に迎え、講座の組み立て方、伝え方、技術などを学び、参加者同士間の情報交流を図った。

エ 共催事業・自主事業

プラザおはなし会、IT相談会、ふだん着のお茶会、第55回諸流いけばな展などの共催事業は、各団体の協力のもとに開催することができた。

(ア) 各種団体共催事業

a プラザおはなし会（子育てサポーター★てんしのほほえみ★）
4月12日(金)～3月14日(金)11時～11時30分 全12回 計30組64人 5階「遊びと憩いの広場」で、子育てボランティア（てんしのほほえみ）による紙芝居と絵本の読み聞かせ、パネルシアターや簡単な手遊び・歌を親子で楽しんだ。
b IT相談会（ITボランティア）
4月21日(日)～3月23日(日)14時～16時 全12回 計20人 毎月第4日曜日に、パソコン初心者・高齢者を対象としてインターネットやスマートフォンの操作等のITに関する相談・質問にボランティアスタッフが対応した。
c ふだん着のお茶会 1・2（(一社)茶道裏千家淡交会いわき支部）
6月8日(土)、11月9日(土)10時～15時 計81人 (一社)茶道裏千家淡交会いわき支部と共催し、日本の伝統文化である茶の湯を体験した。
d 心理学の世界へようこそ（ロビー展）（医療創生大学心理学部）
6月24日(月)～9月24日(火) 4階交流コーナーに、心理学に関する興味深いエピソードのパネルを展示した。
e 星まつり（NPOこみゅーん）
8月6日(火)～同8日(木)10時～14時 計79人 七夕にあわせ、NPOこみゅーんとの共催によるオカリナ演奏、読み聞かせ等を体験した。

f	認知症啓発パネル展示（ロビー展）（いわき市地域包括ケア推進課）
	9月2日(月)～同18日(水) 5階市民ロビーに、認知症に関する相談窓口等の紹介パネルを展示した。
g	防災パネル展示（ロビー展）（いわき市災害対策課）
	11月12日(火)～同30日(土) 5階市民ロビーに、いわき市の防災計画や避難訓練等のパネルを展示した。
h	いわき市産木材PR展示（いわき市林業振興課）
	2月25日(火)～3月21日(金) 4階情報交換コーナーに、いわき市の林業の取り組みを紹介するパネルや、木材を使った製品を展示した。
i	第55回諸流いけばな展（いわき市華道連合会）
	3月8日(土)～同9日(日) 計485人 いわき市華道連合会と共催し、6流派によるいけばな展を開催した。

(イ) 自主事業・展示

a	七夕飾り
	7月7日(日)～8月8日(木) 計145人 5階市民ロビーに笹竹を2本設置し、来館者の願いを込めた短冊を、市民と協働で飾りつけた。
b	雑誌リサイクル会
	7月28日(日)13時～14時 8人 5階情報コーナーにある古い雑誌の無料リサイクル会を開催した。
c	クリスマスディスプレイ
	11月24日(日)～12月25日(水) 5階遊びと憩いの広場にクリスマスツリーを飾り付け、絵本を置くなどして来館者にクリスマス気分を味わっていただいた。

オ 全市的な事業

全市的な事業として、広く市民に浸透している「いわきヒューマンカレッジ（市民大学）」は、「健康増進学部」「地域福祉学部」「SDGs探究学部」「いわき学部」の4学部を開設し、160人の入学人数となり、市民の学習ニーズにあった学部を開講した。入学式の基調講演として、気象予報士斎藤恭紀氏による「学んだことで良い風が吹いたお天気キャスター人生」を開催した。また、福島大学との連携・協力による特別講座を2回実施した。

第20回「生涯学習フェスティバル」は、幅広い年齢層を対象に、プラザ利用団体や関係機関の協力により様々な発表・展示・体験などをおこなった。今回は、地元小学校の合唱、高校の茶道部体験、歴史などの特別講座なども実施し、5,153人の来館者があり、多くの市民へ学習の場・交流の場を提供することができた。

「いわきヒューマンカレッジ（市民大学）」や「生涯学習フェスティバル」の実施にあたっては、「いわき市生涯学習支援ボランティアの会」の支援により円滑に運営することができた。

(ア) いわきヒューマンカレッジ（市民大学）	
a	第56回理事会 5月21日(火)10時30分～12時 18人 令和6年度いわきヒューマンカレッジ実施内容等について
b	入学式・基調講演（会場 いわき市文化センター） 8月31日(土)13時～15時 182人 入学式後、気象予報士の斎藤恭紀氏を講師に迎え、「学んだことで良い風が吹いたお天気キャスター人生」と題した講演会を実施した。
c	健康増進学部（会場 生涯学習プラザ） 9月7日(土)～11月16日(土)10時～12時 全7回 延べ274人 受講登録47人 身体的、社会的、精神的に健康な生活を送るために生活スタイルを見直し、変えていくための方法を学んだ。
d	地域福祉学部（会場 東日本国際大学） 9月14日(土)～11月9日(土)14時～16時 全7回 延べ80人 受講登録24人 社会全体で多様性が求められる中で、持続可能な地域のまちづくりについて学んだ。
e	SDGs探究学部（会場 福島工業高等専門学校） 9月7日(土)～10月26日(土)14時～16時 全7回 延べ155人 受講登録26人 未来につながる材料、江戸の暮らし、再生可能エネルギー、防災、まちづくり、カーボンニュートラル、高専ロボコン等について探究した。

【ア】 いわきヒューマンカレッジ（市民大学）	
f	いわき学部（会場 生涯学習プラザ） 9月13日(金)～11月1日(金)14時～16時 全7回 延べ328人 受講登録66人 いわきの古墳時代、中世、捕鯨、シーラカンス、映画、フラガール、詩等様々な角度から私たちが暮らしているいわきを学んだ。
g	史蹟探訪 9月29日(日) 43人 受講登録56人 茨城南部の国指定史跡の上高津貝塚、茨城県自然博物館を見学した。
h	修了式（会場 いわき市文化センター） 12月1日(日)13時～14時55分 104人 修了式及び各学部代表講師・神山常任理事による講演会を実施した。
i	第57回理事会 2月6日(木)14時～15時 19人 令和6年度いわきヒューマンカレッジの実施状況について 令和6年度いわき市生涯学習支援ボランティアの会の活動状況について 令和7年度いわきヒューマンカレッジ実施計画案の取りまとめについて いわきヒューマンカレッジ実施要項の改正について
j	第58回理事会 3月18日(火)14時～15時 17人
【イ】 福島大学×いわき市 連携講座	
a	「福島の方言・いわきの方言」 12月15日(日)15時～17時 47人 半沢康氏（福島大学教授）を講師に迎え、歴史的経緯や県内との違いなどからいわきの方言について学んだ。
b	「普通」な日本語を考える 2月1日(土)14時～16時 39人〔1月25日(土)から日程変更〕 井本亮氏（福島大学教授）を講師に迎え、私たちがいつも使っている日本語のすがたとかたちについて、日本語と社会の観点から学んだ。
【ウ】 第20回生涯学習フェスティバル	
2月15日(土)9時45分～16時30分、同16日(日)10時～16時 計5,153人 プラザを利用する団体や関係機関の協力（63団体）により、発表・展示・実演・体験等をおこない、市民と交流を深めた。	

カ 情報収集・提供事業

広報に関しては、年間事業案内、講座・イベントごとの詳細な案内チラシを市内公共施設や教育機関等に配布したほか、ホームページやSNSなどで情報提供をした。また、利用者懇談会やアンケート調査でモニタリングを重ね、市民目線に立った効率的な管理運営に努めた。

【ア】 広報事業	
毎月、開講講座を「広報いわき」やホームページで案内するとともに、関係機関にチラシを配布した。また、SNS（X、Instagram、Facebook）を活用し、生涯学習情報の収集、提供を図り、事業案内や市民からの問い合わせに積極的に活用した。	
【イ】 いわきまなびあいバンク事業	
市民講師、社会教育関係団体の情報データベースであるいわきまなびあいバンクの情報収集及び維持管理、ホームページ上の情報を更新し、PDF版「いわきまなびあいバンク」を発行した。また、まなびあいバンクに登録する市民講師の新規募集及び現在登録情報を調査し、最新情報を提供した。	
【ウ】 プラザだより第77号・第78号	
各種講座の募集要項や、実施事業の報告等を掲載し、市内公共施設に配布するとともにホームページでも公開した。年2回発行し、情報をわかりやすく提供する手段として活用できた。	

キ レファレンス対応

講師・サークルの紹介や生涯学習に関する相談を電話・窓口・メール等で受け付け、57件（講師29件、サークル28件）の紹介をした。市民からの照会が多いが、公民館からも13件の問い合わせがあった。

ク 利用者懇談会

日 時	出席委員数	議 題
第1回利用者懇談会 9月25日(木)14時～15時	34団体 42人	令和6年度の利用状況と事業概況について いわき市生涯学習プラザへの要望等について 令和7年度サークル企画「一般体験講座」「学校体験講座」について 「第20回生涯学習フェスティバル」の概要について

日 時	出席委員数	議 題
第2回利用者懇談会 1月22日(水)14時～15時	40団体 56人	令和7年度生涯学習プラザ社会教育関係団体登録について 令和7年度生涯学習プラザ団体ロッカー・倉庫使用団体登録について いわき市公共施設予約案内システム利用者登録申請について いわき市生涯学習プラザへの要望等について 第20回生涯学習フェスティバルについて

ケ 生涯学習支援ボランティアの会 7回 延べ91人

日 時	出席委員数	議 題
第1回役員会 4月10日(水) 13時30分～14時30分	13人	令和6年度いわき市生涯学習支援ボランティアの会活動日程概要について 令和6年度いわきヒューマンカレッジ（市民大学）いわき学部について 令和6年度市民大学・史蹟探訪について
第2回役員会 5月8日(水) 13時30分～14時30分	10人	いわき学部開講内容（案）について 史蹟探訪（案）について いわきヒューマンカレッジ（市民大学）入学式日程について いわき市生涯学習支援ボランティアの会の皆様への支援依頼について
第3回役員会 7月10日(水) 13時30分～14時30分	13人	入学式当日のスケジュールについて 入学式等の役割分担について 学部運営の役割分担について ヒューマンカレッジ(市民大学)運営等支援依頼結果について ヒューマンカレッジ運営等支援実行委員会等について
第4回役員会 11月6日(水) 13時30分～14時30分	10人	いわきヒューマンカレッジ（市民大学）について 学部運営・支援について（総括） 修了式・講演会役割分担について 福島大学・いわき市連携講座について 第20回生涯学習フェスティバルについて
第5回役員会 2月12日(水) 13時30分～14時30分	11人	いわきヒューマンカレッジ(市民大学)について 令和7年度いわき市生涯学習支援ボランティアの会総会について 機関誌「Voluntary Association」第22号について
第6回役員会 3月12日(水) 13時30分～14時30分	11人	令和7年度いわきヒューマンカレッジ（市民大学）のいわき学部の内容等の検討について
令和6年度総会・研修 3月21日(金) 13時30分～15時30分	23人	令和6年度活動状況について 令和7年度事業計画（案）について いわき震災伝承みらい館の活動について

3 管 理 部 門 （ 法 人 会 計 ）

(1) 組織運営

- ア 理事会は7回、評議員会は2回開催し、公正・公平で透明性のある組織運営に努めた。
- イ 円滑な組織運営を図るため、毎月1回の施設長会議または事務担当者会議を開催し、情報の共有と諸課題の解決を図った。
- ウ 給与等に関する規程の改正や特定費用準備資金等取扱規程の制定など、組織運営の円滑化に向けた規程の改正をした。
- エ 次年度の事業計画立案から予算積算に関して、各施設へのヒアリングを実施するなど、計画的な予算編成を行った。さらに、指定管理期間最終年度のいわき市勿来関文学歴史館、いわき市生涯学習プラザについては、新規の指定管理者選定が実施され、公募を経て、引き続き、それぞれ2年間、5年間の指定管理者の指定を受けた。
- オ 当財団と同規模で類似する施設を管理する岐阜県の公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団への視察を行い、財団運営に関する問題点等の聞き取り調査を実施、今後の財団運営の参考とした。

(2) 労務管理と福利厚生

- ア 適材適所の原則から、4月に定期の人事異動をすることで、組織の活性化に努めた。
- イ 定期的に安全衛生委員会を開催するとともに、委員による職場巡視を実施し、施設の安全及び衛生管理に努めた。また、職員から補助職員までを対象とした年1回の健康診断または人間ドックを実施し、個人の健康管理に努め、要精検以上の指導があった場合は、再受診を奨励した。さらに、各施設において36協定を締結し、働き方などの労働環境の整備などに努めた。

(3) 人材育成

- ア 研修の実施
 - (ア) ふくしま自治研修センターの基本研修「基礎力アップ研修」・「応用力アップ研修」・「実行力アップ研修」・「新任管理者研修」の各種研修に5人を派遣し、各階層に準じた研修を実施するとともに、県内各地の同年代の職員同士の交流を推奨した。
 - (イ) 当財団独自の制度である自主研修は3名が計画・実行し、図書購入補助には11名が専門書等の購入補助として申請した。
- イ 『研究紀要』の刊行
職員の資質の向上と調査研究の成果を市民に還元することを目的とした『研究紀要』第22号を刊行した。内容は、古生物・考古・歴史・民俗・文学の各分野から、10編の原稿を収録した。

(4) 企画調整

- ア 当財団の指定管理施設及び事務局調査係間で連携し、施設の主題や特色をはじめ、地域の歴史を多角的に鑑賞、体験、学習する機会を創出し、文化振興を図った。

(ア) 生涯学習プラザ「いわきの文化総合講座1～5」（教養充実講座Ⅰ①～⑤）	
6月16日(日) 第1回「草野心平の旅」	20人 講師 長谷川由美（草野心平記念文学館）
7月21日(日) 第2回「根岸官衙遺跡群と周辺の遺跡」	24人 講師 大滝駿介（事務局調査係）
8月18日(日) 第3回「いわきの地質と化石」	16人 講師 歌川史哲（アンモナイトセンター）
9月15日(日) 第4回「いわきの道路元標」	21人 講師 矢島敬之（暮らしの伝承郷）
10月20日(日) 第5回「勿来の関にまつわる文学」	11人 講師 渡邊千香（勿来関文学歴史館）
計92人受講	
(イ) 暮らしの伝承郷「キッズミュージアムin伝承郷 暮らしの伝承郷で遊ぼうよ」	
11月3日(日) わりばし鉄砲作り体験（いわき海浜自然の家）	142人
(ウ) 生涯学習プラザ「いわきの考古学講座」（いわき再発見講座） （考古資料館企画展主題「いわきの縄文」関連講座）	
11月10日(日) 第1回「会津の縄文文化～奥会津を中心に」	39人 講師 長島雄一氏（日本考古学協会）
12月8日(日) 第2回「遺跡からみる縄文人の生業～狩猟活動を中心に～」	41人 講師 滝沢勇馬（事務局調査係）

(ウ) 生涯学習プラザ「いわきの考古学講座」(いわき再発見講座) (考古資料館企画展主題「いわきの縄文」関連講座)				
1月12日(日)	第3回「いわきの地名が付いた縄文土器」	41人	講師 大滝駿介(事務局調査係)	
2月9日(日)	第4回「縄文時代晩期から弥生時代初めのいわき」	58人	講師 吉田秀享氏(川俣町教育委員会生涯学習課)	
3月2日(日)	第5回「宮畑遺跡にみる縄文時代の建物・まつり・交流」	50人	講師 斎藤義弘氏(じょーもぴあ宮畑)	計229人受講
(エ) 生涯学習プラザ「親子ものづくり講座③」				
12月21日(土)	「家族でつくるクリスマスリース」 (いわき海浜自然の家)	6組14人	講師 大和田孝英、今野 樹	
(オ) 生涯学習プラザ「第20回生涯学習フェスティバル」				
2月15日(土)	「貝のくみ紐づくり」 (いわき海浜自然の家)	106人		

イ 教育機関との連携では、福島工業高等専門学校内に開所した「磐陽テックガレージ」の設備を活用し、当財団指定管理施設の課題解決、魅力発信を図るために連携している。

同校のアントレプレナーシップ(起業家的行動能力)教育の課程として、10月から1月までの間に、施設の担当職員との協議を交えながら、生徒が同ガレージの3Dスキャナ、同プリンター、映像機器等の最新機材を用いて、各施設が所蔵する資料の鑑賞素材及び見本、来館記念グッズ、施設紹介映像等を作製した。2月6日に、施設毎に担当生徒が成果を発表し、各施設の職員等が講評した。

ウ 啓発事業

(ア) 当財団職員の専門性を活かした出前講座は、28団体(公民館10館、中学校1校、小学校5校、学童保育5校、他団体7団体)37講座1展示の依頼があり、1,296人が受講した。

月 日	団体名(いわき市立略)	講座内容	講師(所属)	受講者数
5月25日(土)	勿来公民館	市民講座「いにしへの勿来関さんぼ」(会場 勿来の関公園等)	馬目紗希 (勿来関文学歴史館)	21人
6月2日(日)	中央公民館	クラフト体験	佐藤建比古 (いわき海浜自然の家)	22人
6月18日(火)	久之浜公民館	市民講座「久之浜通信～浜の歳時記を通じて」	佐藤耕太郎 (草野心平記念文学館)	8人
6月29日(土)	錦公民館	まが玉づくり体験	木幡成雄 (考古資料館)	49人
6月30日(日)	中央公民館	クラフト体験	今野 樹 (いわき海浜自然の家)	25人
7月24日(水)	中央公民館	郷土の歴史講座Ⅰ 「石城郡の誕生ー飛鳥・奈良・平安時代のいわきー」	太田勇陽 (暮らしの伝承郷)	50人
	神谷公民館	神谷女性セミナー 「勿来の関・文学と歴史」	渡邊千香 (勿来関文学歴史館)	29人
7月25日(木)	児童クラブ セリオス遊学館	まが玉づくり体験	木幡成雄 (考古資料館)	36人
7月28日(日)	吉野せい賞運営 委員会	文字に描く夢講座 (会場 生涯学習プラザ)	渡邊 彩(草野心平記念文学館)、渡邊千香、馬目紗希(勿来関文学歴史館)	25人
7月31日(水)	中央公民館	郷土の歴史講座Ⅰ 「岩城氏のいわき統一」	中山雅弘 (事務局調査係)	50人
8月1日(木)	植田児童クラブ 汐見が丘児童クラブ	はにわづくり体験 (会場 いわき海浜自然の家)	渡邊芳一 (考古資料館)	計95人
8月2日(金)	おおくら児童クラブ	はにわづくり体験 (会場 いわき海浜自然の家)	木幡成雄 (考古資料館)	106人
8月8日(木)	きんせい学童クラブ	いわきの恐竜時代 (会場 錦星こども園)	歌川史哲 (アンモナイトセンター)	35人

月 日	団体名(いわき市立略)	講座内容	講師(所属)	受講者数
8月20日(火)	SOMPOケアいわき 泉玉露	昔の遊びと郷土玩具	渡邊 彩 (草野心平記念文学館)	10人
8月24日(土)	藤原公民館	土曜学習「古代の藤原を学ぶ」 はにわづくり体験	大滝駿介 (事務局調査係)	41人
9月13日(金)	平第一中学校	いわきの文化を探る(音楽・食に関する文化)	太田勇陽 (暮らしの伝承郷)	29人
		いわきの歴史の概要(戦国・江戸・明治維新等)	木次谷裕子 (事務局調査係)	29人
9月21日(土)	いわき総合図書館	記念講演会「吉野せい入門ー生涯と作品ー」	長谷川由美 (草野心平記念文学館)	19人
9月27日(金)	平第一中学校	昔の郷土玩具作成等(藁馬作り体験)	太田勇陽 (暮らしの伝承郷)	27人
9月28日(土)	山田公民館	土曜学習「オリジナルまが玉づくり体験」	渡邊芳一 (考古資料館)	25人
10月11日(金)	中央台北小学校	じゃんがらについて①	太田勇陽 (暮らしの伝承郷)	15人
10月16日(水)	中央台北小学校	じゃんがらについて②	太田勇陽 (暮らしの伝承郷)	19人
10月23日(水)	綴小学校	総合的な学習「受け継ごう つづらの伝統文化」白水阿弥陀堂について	中山雅弘 (事務局調査係)	15人
10月27日(日)	秋まつりinおがわ2024実行委員会	[出前展示]秋まつりinおがわ2024 (会場 小川公民館)	草野心平記念文学館	-
11月16日(土)	泉駅前子供会	はにわづくり体験 (会場 泉公民館)	渡邊芳一 (考古資料館)	32人
11月28日(木)	小川小学校	小川江筋を作った道具の説明と体験	松嶋直実 (暮らしの伝承郷)	25人
12月18日(水)	中央台北小学校	昔のくらしを学ぼう	太田勇陽 (暮らしの伝承郷)	40人
1月18日(土)	いわき総合図書館	いわき学「久保姫の嫁入りの真実」	中山雅弘 (事務局調査係)	31人
1月22日(水)	好間公民館	市の様子と人々のくらしのうつりかわり(会場 好間第二小学校)	太田勇陽 (暮らしの伝承郷)	45人
1月23日(木)	平第一小学校	昔遊び体験	太田勇陽 (暮らしの伝承郷)	66人
	小川公民館	市民講座 小川倶楽部「白井遠平と東北開発」	佐藤耕太郎 (草野心平記念文学館)	6人
1月24日(金)	中央公民館	郷土の歴史講座Ⅱ「古代のいわき」縄文・弥生時代のいわき	大滝駿介 (事務局調査係)	54人
	湯本第一小学校	いろいろな昔の遊びについて	松嶋直実 (暮らしの伝承郷)	46人
1月25日(土)	いわき総合図書館	いわき学「いわきの古墳文化を探る」	木幡成雄 (考古資料館)	21人
	夏井公民館	藤間っ子土曜学習「埴輪づくりに挑戦」	渡邊芳一 (考古資料館)	44人
1月31日(金)	中央公民館	郷土の歴史講座Ⅱ「古代のいわき」古墳時代のいわき	木幡成雄 (考古資料館)	47人
2月17日(月)	中央台北小学校	昔遊びについて	太田勇陽 (暮らしの伝承郷)	40人
2月22日(土)	SOMPOケアいわき 泉玉露	じゃんがらと獅子舞について	松嶋直実 (暮らしの伝承郷)	19人

- (イ) 当財団ホームページに、財務諸表及び各施設の事業計画や「出前講座」の募集等の各種情報を掲出したほか、SNSを活用し、各施設で開催する事業を速やかに告知・案内した。
- また、指定管理8施設の事業及び1年間の催し物を掲載した「事業のご案内」リーフレットを引き続き作成し、各施設の利用者へ配布し、周知を図った。
- さらに、学校の長期休暇期間中の各施設の事業については、共同でチラシを作成して市内の保育園・幼稚園・小学校及び社会教育施設等に配布することで、参加者増に努めた。
- (ウ) 当財団の令和5年度の事業運営内容を記録、紹介する『令和5年度 年報』を刊行した。

Ⅲ 評議員会・理事会に関する事項

1 評議員会

- (1) 定時評議員会 6月26日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階大会議室
議案 第1号 令和5年度決算の承認について
第2号 評議員の選任について
第3号 理事の選任について
第4号 監事の選任について
- (2) 臨時評議員会（書面決議）
ア 4月12日提出、同日議決 議案 第1号 監事の選任について
イ 3月21日提出、同日議決 議案 第1号 理事の選任について

2 理事会

- (1) 第1回理事会（書面決議） 4月10日提出、同日議決
議案 第1号 令和6年度臨時評議員会の招集について
- (2) 第2回理事会 5月29日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階大会議室
議案 第1号 令和5年度決算の承認について
第2号 令和6年度定時評議員会の招集について
報告 第1号 令和6年度経過報告（4月）
- (3) 第3回理事会（書面決議） 6月26日提出、同日議決
議案 第1号 副理事長及び常務理事の選定について
- (4) 第4回理事会 12月23日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階中会議室
議案 第1号 専決処分の承認について（令和6年6月10日専決第1号）
第2号 専決処分の承認について（令和6年7月19日専決第2号）
第3号 給与等に関する規程及び定年退職者の再雇用に関する規程の改正について
第4号 令和6年度収支補正予算（第3号）について
報告 第1号 令和7年度における指定管理者の内定について
第2号 令和6年度経過報告（5月～11月）
- (5) 第5回理事会（書面決議） 2月4日提出、同日議決
議案 第1号 役員賠償責任保険契約について
- (6) 第6回理事会（書面決議） 3月7日提出、同日議決
議案 第1号 令和6年度臨時評議員会の招集について
- (7) 第7回理事会 3月24日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階大会議室
議案 第1号 特定費用準備資金等取扱規程の制定について
第2号 給与等に関する規程の改正について
第3号 令和7年度事業計画及び収支予算について
第4号 常務理事の選定について
第5号 事務局長の選定について
報告 第1号 令和6年度経過報告（12月～2月）

3 監査

- (1) 事前監査 5月14日 会場 いわき市考古資料館講義室 内容 令和5年度決算審査の事前監査
(2) 第46回監事会 5月16日 会場 いわき市役所財政部長室 内容 令和5年度決算審査

4 役員等に関する事項 評議員7名、理事8名、監事3名（令和7年3月31日現在）

- | | | | | |
|----|-------|-----|-------|------------------------|
| 就任 | 4月1日 | 評議員 | 赤津 俊一 | （いわき市観光文化スポーツ部長） |
| | | 評議員 | 柴田 光嗣 | （いわき市教育委員会教育部長） |
| | 4月12日 | 監事 | 西川 謙太 | （いわき市財政部長） |
| | 6月26日 | 評議員 | 田仲 桂 | （福島県文化振興審議会委員） |
| 辞任 | 6月26日 | 評議員 | 渡邊 弘 | （株式会社いわき市民コミュニティ放送相談役） |
| | 3月31日 | 評議員 | 柴田 光嗣 | （いわき市教育委員会教育部長） |
| | | 理事 | 鈴木 善明 | （当財団常務理事兼事務局長） |

Ⅳ 職員に関する事項

令和7年3月31日現在

1 事務局

括弧内数字：兼務職員数 単位：名

区 分	事務局長 同相当職	次 長 同相当職	係 長 同相当職	主任職	係 員	嘱託職員	補助職員	計
事務局	1	1	—	—	—	—	—	2
企画管理係	—	1	2	—	—	—	1	4
調査係	—	—	3	2	1	3	12	21
計	1	2	5	2	1	3	13	27

2 施 設

区 分	館 長 所 長	次 長 同相当職	係 長 同相当職	主任職	係 員	嘱託職員	補助職員	計
文学館	1	1	1	2	—	—	4	9
伝承郷	1	—	1	1	1	—	4	8
勿来関 文学歴史館	1	—	—	1	—	1	2	5
アンモナイト センター	1	—	—	1	—	1	3	6
考古資料館	(1)	—	(4)	(2)	(1)	—	3	3 (8)
いわき海浜 自然の家	1	1	3	2	—	4	7	18
生涯学習 プラザ	1	1	2	1	—	—	6	11
計	6 (1)	3	7 (4)	8 (2)	1 (1)	6	29	60 (8)

合 計	7 (1)	5	12 (4)	10 (2)	2 (1)	9	42	87 (8)
-----	----------	---	-----------	-----------	----------	---	----	-----------

前 年 度 合 計	7 (1)	6	8 (3)	13 (3)	3 (2)	9	50	96 (9)
--------------	----------	---	----------	-----------	----------	---	----	-----------

決 算 報 告 書

目 次

	ページ
1 貸借対照表	52
2 正味財産増減計算書	53
3 財務諸表に対する注記	56
4 財産目録	58

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	348,920,172	374,040,294	△25,120,122
未収金	20,536,957	25,091,626	△4,554,669
前払金	5,610	0	5,610
立替金	8,198	68,146	△59,948
仮払金	136,535	0	136,535
未経過通信運搬費	20,667	42,758	△22,091
未経過租税公課	5,000	3,400	1,600
流動資産合計	369,633,139	399,246,224	△29,613,085
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) その他固定資産			
器具・備品	13	13	0
リース資産	2,481,806	14,230,718	△11,748,912
電話加入権	9,000	9,000	0
投資有価証券	9,466,000	10,070,000	△604,000
その他固定資産合計	11,956,819	24,309,731	△12,352,912
固定資産合計	21,956,819	34,309,731	△12,352,912
資産合計	391,589,958	433,555,955	△41,965,997
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	147,701,741	177,949,631	△30,247,890
未払消費税	7,779,300	12,377,800	△4,598,500
前受金	0	0	0
預り金	1,352,981	4,168,488	△2,815,507
仮受金	0	0	0
賞与引当金	14,509,623	13,532,577	977,046
短期リース債務	543,061	12,304,154	△11,761,093
流動負債合計	171,886,706	220,332,650	△48,445,944
2 固定負債			
長期リース債務	2,006,805	2,549,866	△543,061
固定負債合計	2,006,805	2,549,866	△543,061
負債合計	173,893,511	222,882,516	△48,989,005
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
受取出捐金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	207,696,447	200,673,439	7,023,008
正味財産合計	217,696,447	210,673,439	7,023,008
負債及び正味財産合計	391,589,958	433,555,955	△41,965,997

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益 (A)	200	200	0
基本財産受取利息	200	200	0
② 事業収益 (B)	754,734,367	806,169,985	△51,435,618
文化財調査受託料	250,732,900	320,111,000	△69,378,100
施設指定管理料	491,993,005	473,754,987	18,238,018
1 市立草野心平記念文学館	76,858,000	76,619,000	239,000
2 市草野心平生家	3,259,000	3,254,000	5,000
3 市暮らしの伝承郷	53,761,000	51,570,000	2,191,000
4 市勿来関文学歴史館	39,793,005	38,183,538	1,609,467
5 市アンモナイトセンター	29,975,000	26,821,449	3,153,551
6 市考古資料館	22,026,000	17,676,000	4,350,000
7 県いわき海浜自然の家(県)	167,132,000	160,912,000	6,220,000
8 市生涯学習プラザ	99,189,000	98,719,000	470,000
施設事業受託料	8,886,512	9,821,518	△935,006
1 いわきヒューマンカレッジ	3,894,000	3,894,000	0
2 未来キッズ生き生き事業	3,486,443	3,647,906	△161,463
3 勿来関公園体験学習施設管理事業	363,000	432,643	△69,643
4 心のケアが必要な子ども対象事業	693,069	338,800	354,269
5 勿文歴収集資料調査検証業務	0	1,508,169	△1,508,169
6 文学館収集資料整理・分類業務	312,000	0	312,000
7 考古資料館収集資料調査検証業務	138,000	0	138,000
施設利用料	3,118,860	2,478,180	640,680
出版物頒布料	3,090	4,300	△1,210
③ 受取負担金 (C)	0	0	0
講師派遣料	0	0	0
④ 受取寄附金 (D)	0	0	0
寄附金	0	0	0
⑤ 雑収益 (E)	3,324,376	846,237	2,478,139
受取利息	113,179	1,103	112,076
雑収益	3,211,197	845,134	2,366,063
経常収益計 (A～E)=(F)	758,058,943	807,016,422	△48,957,479
(2) 経常費用			
① 事業費 (G)	711,956,059	737,881,888	△25,925,829
給料手当	126,307,057	117,509,476	8,797,581

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
賃金	154,995,570	171,366,850	△16,371,280
賞与引当金繰入額	12,357,481	11,558,284	799,197
共済費	49,484,418	48,287,384	1,197,034
報償費	4,698,415	5,899,787	△1,201,372
旅費	2,566,290	2,556,209	10,081
消耗品費	14,480,301	15,230,085	△749,784
被服費	567,451	1,059,705	△492,254
燃料費	7,947,863	7,176,913	770,950
食糧費	415,120	428,712	△13,592
印刷製本費	18,872,256	26,285,185	△7,412,929
光熱水費	34,751,304	29,858,301	4,893,003
修繕費	10,364,877	12,798,335	△2,433,458
医薬材料費	0	0	0
通信運搬費	5,254,532	5,085,837	168,695
広告料	352,059	595,959	△243,900
手数料	1,334,022	942,374	391,648
保険料	1,137,230	1,236,818	△99,588
委託料	169,000,953	184,775,864	△15,774,911
使用料及び賃借料	46,383,442	40,598,088	5,785,354
工事請負費	1,790,605	3,402,996	△1,612,391
原材料費	184,538	157,482	27,056
負担金	420,174	268,950	151,224
公租公課	35,665,187	38,096,111	△2,430,924
消耗什器備品費	608,080	652,575	△44,495
減価償却費	11,748,912	11,514,782	234,130
支払利息	267,922	538,826	△270,904
② 管理費 (H)	38,475,876	36,829,740	1,646,136
報酬	240,700	249,000	△8,300
給料手当	16,914,694	15,944,601	970,093
賃金	4,567,241	4,298,861	268,380
賞与引当金繰入額	2,152,142	1,974,293	177,849
共済費	5,030,958	4,757,380	273,578
報償費	135,412	147,000	△11,588
旅費	279,919	81,444	198,475
交際費	39,800	0	39,800
消耗品費	284,482	181,689	102,793
被服費	15,000	17,500	△2,500
燃料費	57,653	54,999	2,654

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
食糧費	10,340	12,665	△2,325
印刷製本費	2,410,100	2,301,200	108,900
光熱水費	141,719	154,390	△12,671
修繕費	19,800	22,000	△2,200
通信運搬費	303,929	282,644	21,285
広告料	0	0	0
手数料	415,195	409,640	5,555
保険料	158,970	181,120	△22,150
委託料	474,796	461,176	13,620
使用料及び賃借料	923,889	1,112,631	△188,742
原材料費	0	0	0
負担金	513,779	684,968	△171,189
補償費	19,745	0	19,745
公租公課	3,365,613	3,500,539	△134,926
消耗什器備品費	0	0	0
経常費用計 (G+H) = (I)	750,431,935	774,711,628	△24,279,693
評価損益等調整前当期経常増減額 (F-I) = (J)	7,627,008	32,304,794	△24,677,786
投資有価証券評価損益等	△604,000	70,000	△674,000
評価損益等計 (K)	△604,000	70,000	△674,000
当期経常増減額 (J+K) = (L)	7,023,008	32,374,794	△25,351,786
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計 (M)	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 過年度損益修正損			
リース料修正損	0	0	0
電話加入権減損損失	0	0	0
経常外費用計 (N)	0	0	0
当期経常外増減額 (M-N) = (O)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (L+O) = (P)	7,023,008	32,374,794	△25,351,786
一般正味財産期首残高 (Q)	200,673,439	168,298,645	32,374,794
一般正味財産期末残高 (P+Q) = (R)	207,696,447	200,673,439	7,023,008
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	200	200	0
一般正味財産への振替額	△200	△200	0
当期指定正味財産増減額 (S)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (T)	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高 (S+T) = (U)	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高 (R+U)	217,696,447	210,673,439	7,023,008

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

平成26年度より公益法人会計基準（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）

その他有価証券（時価のあるもの） 時価法

(2) 固定資産の減価償却方法

器具・備品 定率法

リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

期末在職者の退職金支給に備えるため、中小企業退職共済制度に加入しており、同制度による給付額と退職金要支給額が同額であるため、退職給付引当金は計上していない。

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引（所有権移転外ファイナンスリース）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、重要性の乏しいリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000円	0円	0円	10,000,000円
合 計	10,000,000円	0円	0円	10,000,000円

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000円	(10,000,000円)	(0円)	—
合 計	10,000,000円	(10,000,000円)	(0円)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却及び償却額累計額及び当期末残高及び減損損失

固定資産の取得価額、減価償却及び減損損失累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却及び 減損損失累計額	当期減価償却	当期末残高
器具・備品	7,541,762円	7,541,749円	0円	13円
リース資産	59,306,500円	45,075,782円	11,748,912円	2,481,806円
電話加入権	449,904円	440,904円	0円	9,000円
合 計	67,298,166円	53,058,435円	11,748,912円	2,490,819円

5 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収金	20,536,957円	0円	20,536,957円
合 計	20,536,957円	0円	20,536,957円

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益 基本財産受取利息	200円
合 計	200円

財 産 目 録

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	事務局、施設 7 か所	手許保管	292,900
郵便振替	ゆうちょ銀行	運転資金	177,136
預金	普通預金		
	東邦銀行湯本支店	運転資金	297,629,224
	東邦銀行湯本支店	運転資金	0
	東邦銀行湯本支店	運転資金	4,311
	いわき信用組合湯本支店	運転資金	5,075,314
	いわき信用組合湯本支店	運転資金	5,549,555
	大東銀行湯本支店	運転資金	93,900
	福島銀行湯本支店	運転資金	97,831
	大和祁弐銀行伊支店	運転資金	0
	JA福島さくら久之浜支店	運転資金	1
	定期預金		
	いわき信用組合湯本支店	運転準備資金	10,000,000
	大東銀行湯本支店	運転準備資金	10,000,000
	福島銀行湯本支店	運転準備資金	10,000,000
	大和祁弐銀行伊支店	運転準備資金	10,000,000
未収金	いわき市、福島県等	文化財調査受託料未収等	20,536,957
前払金		AEDリース料	5,610
立替金	いわき市、年金事務所等	藤原収蔵庫電気料、社会保険料	8,198
仮払金	年金事務所	社会保険料	136,535
未経過通信運搬費	切手	在庫	20,667
未経過租税公課	印紙	在庫	5,000
流動資産合計			369,633,139
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	東邦銀行湯本支店	市出捐金	10,000,000
その他固定資産			
器具・備品	カメラ等	公 1 事業目的保有財産	13
リース資産	パソコンインフォメーション機器	公 2 事業目的保有財産	2,481,806
電話加入権		公 1・法人会計事業目的保有財産	9,000
投資有価証券	第 1 回グリーン共同市場公募地方債	法人運営の運用資産	9,466,000
固定資産合計			21,956,819
資産合計			391,589,958
(流動負債)			
未払金	人件費	補助職員 3 月分賃金等	10,058,263
	物件費	業者に対する未払額	137,643,478
未払消費税	いわき税務署	6 年度消費税	7,779,300
預り金	所得税、市県民税、社会保険料等		1,352,981
賞与引当金	職員		14,509,623
短期リース債務			543,061
流動負債合計			171,886,706
(固定負債)			
長期リース債務			2,006,805
固定負債合計			2,006,805
負債合計			173,893,511
正味財産			217,696,447